

公益財団法人 アジア女性交流・研究フォーラム アニュアルレポート

ANNUAL REPORT



令和5(2023)年度 年報

(公財) アジア女性交流・研究フォーラムの主な事業



第34回アジア女性会議ー北九州「危機の時代を生きる」
2部「ウクライナ～平和へのアプローチ」



国別研修
「ブータン・女性と子どもの保護とケア」



KFAW アジアジェンダー研究者ネットワークセミナー
「ヘジャープをめぐるポリテックス・ウェールは何を表象しているのか」



第36回研究報告会
(会場視聴の様子)



NGO セミナー
「アフガニスタンの大地より」



第67回国連女性の地位委員会 (CSW67) 報告会
「ジェンダー平等とすべての女性・少女のエンパワーメント
達成のためのデジタル時代における革新、技術変革及び教育」

北九州市立男女共同参画センター・ムーブの主な事業



おとこのライフセミナー：田中俊之さん講演会
「男が働かない、いいじゃないか！」



男女共同参画啓発講座：能條桃子さん講演会
「私が始める！わたしサイズの政治参画」



女性のエンパワーメント事業
働く女性に贈る！お役立ちワンポイントセミナー



男性にとっての男女共同参画 エブロン男子講座



若者のキャリア形成への支援
キャリア形成プログラム

目 次

公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラムの概要

設立趣意書	2
目的	3
事業内容	3
組織	3
職員数	4
役員等	4
運営	5

令和 5（2023）年度実施事業

公益目的事業Ⅰ	
調査・研究事業	8
交流・研修事業	11
情報収集・発信事業	14
国際研修事業	15
その他	16
公益目的事業Ⅱ	
指定管理事業	18
男女共同参画センター管理運営業務	18
自主事業	25
男女共同参画センター自主事業	25
指定管理施設利用状況	26
収益事業等	
その他事業Ⅰ：北九州市大手町ビル維持管理事業	28
その他事業Ⅱ：北九州市立男女共同参画センター等の公益目的以外の貸与事業	28
法人事業	30

財務諸表

貸借対照表内訳表	32
正味財産増減計算書内訳表	33
財務諸表に対する注記	34

資料

公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラムの歩み	38
刊行物一覧	48
海外とのネットワーク	54
施設案内	55

公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラムの概要

設立趣意書

今日、国際社会においては、地球的規模で、世界の平和と人類の福祉向上の実現に向けての努力が重ねられています。

女性の地位向上の面においても、一国の全面的な発展及び世界の福祉・平和のためには、女性が男性と共に、社会のあらゆる分野に参画することが必要であることが認識され、1975年の「国際婦人年」を契機に、続く「国連婦人の十年」において「平等・開発・平和」を目標として世界的な規模での活動が活発に展開されてきました。しかし、実質的な女性の地位向上には、まだ多くの問題が残されており、国連婦人の十年以後もその精神を引き継ぎ、ナイロビ世界会議で採択された西暦2000年に向けての「婦人の地位向上のためのナイロビ将来戦略」に沿って、世界各地で目標達成のための努力が続けられています。

女性問題は、女性が単に女性であるということから生じるさまざまな不利益、不平等の問題であり、基本的人権、人間の尊厳にかかわる問題であります。その意味において、女性問題は女性だけの問題ではなく、男性を含む社会全体の、世界的に共通な問題であるといえます。このような観点から、現在、女性の視点が反映されることの少なかつた従来の社会のありかたの再構築の必要性が認識され、男女共同参画による社会づくりが強く求められています。特に、開発途上国においては、国の開発の推進と開発における女性の参画が重要な問題となっています。

このような女性問題に対する認識と国際婦人年以来のさまざまな活動をふまえ、北九州市のふるさと創生事業を契機にアジア女性交流・研究フォーラムは事業を開始しました。以来、女性の地位向上とアジア地域の連帯・発展の核として機能することを目指して、日本及び他のアジア地域の女性問題に関する調査・研究及び情報の収集・提供、あるいは開発途上国の人材養成のための研修ならびに相互理解を促進するための国際交流などの活動を行ってきました。

国際社会が相互依存の関係を強め、日本の国際的役割がますます重要になるなかで、わたしたちは、アジア女性交流・研究フォーラムの事業の使命と意義を更に深く認識し、安定的な財政基盤の確保と、これまでの活動の一層の充実を図り、日本における女性問題の所在をより明確にするとともに、アジアの女性の地位向上に更に寄与することを念願し、ひいては、国際婦人年以降の目標である「平等・開発・平和」を達成するため、財団法人アジア女性交流・研究フォーラムを設立いたします。(1993年起草)

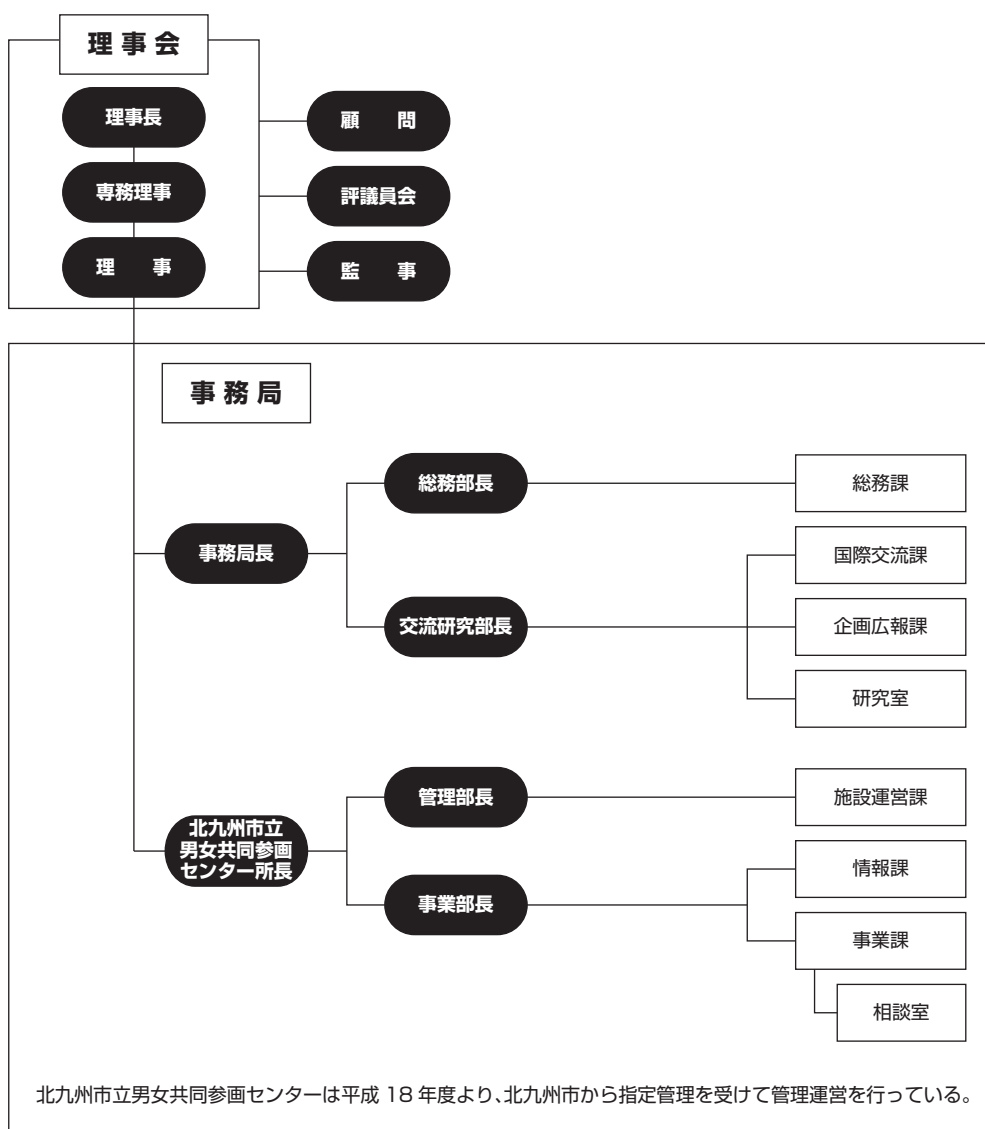
目的

日本及び他のアジア諸国のジェンダー（社会的性別）問題に関する調査研究及び国際交流等を行うとともに、男女共同参画社会の形成の推進に関する取り組みを支援することにより、女性の地位向上及び男女共同参画社会の形成の推進を図り、もって、日本及び他のアジア地域相互の発展に寄与することを目的とする。

事業内容

- (1) ジェンダーや男女共同参画に関する課題についての調査・研究
- (2) ジェンダーや男女共同参画に関する課題についての国際交流・研修
- (3) ジェンダーや男女共同参画に関する課題についての情報収集・発信
- (4) 北九州市立男女共同参画センターの管理・運営
- (5) その他、本財団の目的を達成するために必要な事業

組織



職員数

令和6年3月31日現在

区分	所長	事務局長	部長級	課長級	職員	計
市派遣職員			2	3		5
うちムーブ職員 ^{※1}			2(兼務)	2		4
嘱託職員				3	17	20
うちムーブ職員 ^{※1}				1	14	15
その他(役員との兼務)	1 ^{※2}	1 ^{※3}				1

※1 北九州市立男女共同参画センター・ムーブの管理運営に従事する職員

※2 所長は専務理事が兼務する。

※3 事務局長は専務理事が兼務する。

役員等(五十音順)

令和6年3月31日現在

理事長

堀内 光子 公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラム理事長

専務理事

小石 佐織

理事

秋月 弘子 亜細亜大学国際関係学部教授

大島 まな 九州女子大学教授、北九州市男女共同参画審議会会長

小川 健一郎 公益財団法人大阪YMCA代表理事

北野 久美 北九州市保育士会会長

廣重 純理 弁護士

湯浅 壘道 明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科教授、北九州市男女共同参画審議会副会長

監事

野中 宏之 株式会社福岡銀行常務執行役員北九州代表兼本部長

吉村 知泰 北九州市会計室長

顧問

武内 和久 北九州市長

服部 誠太郎 福岡県知事

評議員

稲原 浩	北九州市副市長
窪田 由紀	九州産業大学 学術研究推進機構 科研費特任研究員
戴 二彪	公益財団法人アジア成長研究所所長
富安 兆子	高齢社会をよくする北九州女性の会代表
沼田 文子	北九州市女性団体連絡会議会長
羽田野 隆士	北九州商工会議所専務理事
浜 和枝	北九州市婦人会連絡協議会会長
村上 順滋	北九州市私立幼稚園連盟会長
柳井 雅人	北九州市立大学学長

運 営

1 理事会

(1) 第1回理事会（みなし決議）

決議があったとみなされた日 令和5年4月27日（木）
議 案 ・ 臨時評議員会（みなし決議）の開催の決定について
議事結果 議案可決

(2) 第2回理事会

開 催 日 令和5年6月6日（火）14：30～16：00
場 所 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ 5階小セミナールーム
出席者数 6名
議 案 ・ 令和4年度事業報告及び決算について
・ 公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラム財務会計規程の一部改正について
・ 令和5年度定時評議員会の招集の決定について
議事結果 全議案可決

(3) 第3回理事会（みなし決議）

決議があったとみなされた日 令和5年6月21日（水）
議 案 ・ 理事長（代表理事）1名の選定について
・ 専務理事（業務執行理事）1名の選定について
議事結果 議案可決

(4) 第4回理事会（みなし決議）

決議があったとみなされた日 令和5年12月6日（水）

議案 ・ 令和5年度臨時評議員会（みなし決議）の開催について
・ 公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラム処務規程の一部改正について

議事結果 全議案可決

(5) 第5回理事会

開催日 令和6年3月7日（木）14：00～15：45

場所 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ 5階小セミナールーム

出席者数 7名

議案 ・ 公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラム就業規則の一部改正について
・ 公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラム職員給与規程の一部改正の専決処分の報告について
・ 令和6年度事業計画及び収支予算について

議事結果 全議案可決

2 評議員会

(1) 臨時評議員会（みなし決議）

決議があったとみなされた日 令和5年5月12日（金）

議案 ・ 監事の選任について
・ 評議員の選任について

議事結果 全議案可決

(2) 定時評議員会

開催日 令和5年6月21日（水）10：30～12：00

場所 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ 5階大セミナールーム

出席者数 9名

議案 ・ 令和4年度決算について
・ 理事の選任について
・ 専務理事の報酬の決定について

議事結果 全議案可決

(3) 臨時評議員会（みなし決議）

決議があったとみなされた日 令和5年12月25日（月）

議案 ・ 理事の選任について

議事結果 全議案可決

**令和 5（2023）年度実施事業
公益目的事業 I**

日本及びアジア地域のジェンダー問題に関する調査研究、 国際協力・交流等を通じて女性の地位向上を図る事業

【概況】

アジア女性交流・研究フォーラム（KFAW）は、平成2年10月に設立、平成5年10月に労働省（現厚生労働省）の認可を受けて財団法人となり、平成25年4月1日に内閣府の認定を受けて公益財団法人に移行した。設立以降、女性の地位向上及びジェンダー平等社会の形成の推進を図るため、さまざまな活動を展開してきた。

令和5年度も、積極的にオンラインを活用するなど、重要事業の継続的实施を図った。

調査・研究事業として、1組の客員研究員研究を選考するとともに、研究報告会をオンラインでアジアジェンダー研究者ネットワークセミナーをハイブリッド方式（会場、オンラインの併用）で実施した。

交流・研修事業としては、国際研修として、「行政官のためのジェンダー主流化政策」研修1回と、ブータン国に対し「ブータン・女性と子どもの保護とケア」研修を1回実施し、これまでの研修で築いたネットワークを活かし「アジア女性会議－北九州」を開催した。

第67回国連女性の地位委員会（CSW67）の報告会や国際理解セミナーを開催したほか、高校生向け男女共同参画意識の啓発セミナーを実施した。

1 調査・研究事業

KFAW 客員研究員による調査研究を行うとともに、研究報告会の開催や研究誌の刊行によって研究成果を公開し、研究者、市民等と共有した。また、KFAW アジアジェンダー研究者ネットワークセミナーの開催やキャリア形成のためのプログラム改訂などを行った。

(1) 客員研究員研究

KFAW の調査・研究事業については、客員研究員への委託により時宜に適したテーマによる調査研究を実施した。令和5年度は、1組の客員研究員研究を選考した（調査期間：令和5年度～令和6年度）。

ア R5 / R6 年度 KFAW 客員研究員と研究テーマ

(ア) 戦後日本社会における軍事と男性性の関係の検討—新聞・雑誌メディアにおける自衛隊表象に着目して

一橋大学大学院社会学研究科 児玉谷レミ

イ 研究誌の刊行

KFAW 客員研究員等の論文を収録した研究誌『アジア女性研究』及び『KFAW 調査研究報告書』を刊行した。また、『アジア女性研究』に掲載する投稿論文を若手研究者対象に募集した。

・『アジア女性研究』第 33 号 400 部

・『KFAW 調査研究報告書』 各 100 部

2023-1 日本の起業活動の男女間格差と非三大都市圏の女性起業支援策

2023-2 80 年代日本のエコフェミニズム論争を総括する

— 〈青木・上野論争〉の 5 つの争点をめぐって

ウ 研究報告会の開催

研究報告会を開催して、研究成果を市民、研究者などに広く発信した。

(ア) 第 36 回 KFAW 研究報告会

① 日時 令和 6 年 3 月 9 日 (土) 14:00 ~ 16:00

② 場所 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ (オンライン配信及び会場視聴)

③ 報告内容、報告者

「日本の起業活動の男女間格差と非三大都市圏の女性起業支援策」

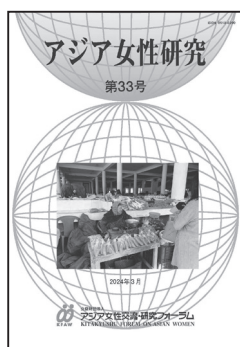
島根県立大学地域政策学部准教授 建井順子

「80 年代日本のエコフェミニズム論争を総括する

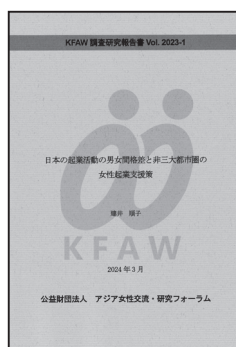
— 〈青木・上野論争〉の 5 つの争点をめぐって」

立教大学 21 世紀社会デザイン研究科兼任講師 森田系太郎

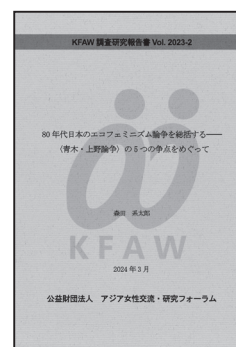
④ 参加者 44 名 (オンライン 41 名、会場視聴 3 名)



『アジア女性研究』第 33 号



KFAW 調査研究報告書 2023-1



KFAW 調査研究報告書 2023-2

(2) KFAW アジアジェンダー研究者ネットワーク活動

ア アジアジェンダー研究者によるセミナーの開催

ジェンダーに関するさまざまな分野の研究者や実務者が、アジア地域を対象とする研究の成果について、市民を含む多くの人々と共有するため、セミナーを開催するとともに KFAW アジアジェンダー研究者ネットワーク活動の充実を図った。

(ア) 令和 5 年度第 1 回 KFAW アジアジェンダー研究者ネットワークセミナー

- ① テーマ 「ヘジャープをめぐるポリテクス―ヴェールは何を表象しているのか」
- ② 日時 令和 5 年 4 月 22 日 (土) 14:00 ~ 16:00
- ③ 場所 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ (会場参加及びオンライン配信)
- ④ 講師 横浜市立大学客員研究員 森田豊子
- ⑤ 参加者 58 名 (会場 19 名、オンライン 39 名)
- ⑥ 内容 2022 年 9 月にイランでヘジャープの着用が不適切だったとして女性が警察に拘束された後、亡くなるという事件があった。今回のセミナーでは、この事件をきっかけに起こった抗議デモやイランにおけるヴェールの意味について、中東イスラーム地域、特にイラン地域研究者でありネットワーク所属の講師に実体験を交えてお話しいただいた。

イ キャリア形成のためのプログラム開発

大学生の卒業後の働き方や自己実現のために、ジェンダー平等及び女性のエンパワーメントの視点も踏まえ開発した「大学生のためのキャリア形成プログラム」を改訂し、市内 4 大学で 8 回講義を行った。

(3) ジェンダー平等の実現に向けた調査・研究ツール作成事業 (市からの委託事業)

令和 4 年度に市から受託した「北九州市における性別による無意識の思い込み (アンコンシャス・バイアス) に関する市民意識調査」を踏まえ、若年層に対し意識変容を促すための実証実験用動画とリーフレットを作成した。

(4) 日本フェミニスト経済学会 2023 年度大会への後援事業

令和 5 年 7 月 29 日に福岡女子大学で大会「フェミニスト経済学とローカリティー移動の自由と生き方の幅」(共通論題) が開催され、当財団の理事長が登壇し報告に対するコメントを行った。

2 交流・研修事業

「第34回アジア女性会議—北九州」や国際理解セミナー「世界をつなげるフィリピンの女性たち」などを開催した。

(1) 「アジア女性会議—北九州」等の国際セミナーの開催

ア アジア女性会議—北九州

「危機の時代を生きる」と題し、1月20日に開催した。第一部は「環境へのアプローチ」とし、気候変動などの地球の危機的状況と、北九州市とインドネシア・スラバヤ市で環境活動を行う団体の活動発表をジェンダーの視点から講演と発表を行い、第二部は「ウクライナ～平和へのアプローチ」とし、ウクライナの現状を知り、どんな戦争も正当化されないという意識と、平和の大切さを演奏と語りにより市民と共有した。

他に関連事業として2つ実施した。一つ目はムーブ相談室の女性の暴力ゼロ運動関連事業として、11月10日に「DV加害者は変わるか」と題した講座を英語同時通訳付きで共催し、世界的に関心の高いトピックを海外の参加希望者にも配信した。

二つ目は1月17日～28日に、企画パネル展「多様性 メディアが変えたもの メディアを変えたもの」を、日本新聞博物館およびムーブと開催した。企画理解を深める目的で1月21日に日本新聞博物館館長、尾高泉氏の講演を開催し、多角的に危機である状況やその方策を発信した。

(ア) 『第34回アジア女性会議—北九州』の開催

「危機の時代を生きる」 1部「環境へのアプローチ」、2部「ウクライナ～平和へのアプローチ」

- | | |
|-----------------|---|
| ① 日時 | 令和6年1月20日(土) 13:30～16:30 |
| ② 場所 | 1部：オンライン配信 (Zoom)、会場参加
2部：会場参加 (会場 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ) |
| ③ 参加者 | 1部：115名 (オンライン68名、会場47名)、2部：134名 (会場) |
| ④ 登壇者 | 1部：講演／松下和夫 (京都大学名誉教授)
ユーストーク・セッション／森 友里歌 (北九州市立大学大学院環境工学専攻建築デザインコース博士後期課程、NPO北九州ビオトープネットワーク研究会)、ハニィ・イスメイ (インドネシア・スラバヤ市NPOノル・サンパ共同設立者)
2部：出演／カテリーナ (ウクライナ・伝統楽器バンドウーラ奏者、歌手) |
| ⑤ 報告書の作成 (HP掲載) | |

イ 国際理解促進事業

昨今の移民問題やジェンダーについての理解を深めるため、フェリス女学院大学教授小ヶ谷氏に仕事のためにフィリピンから移動する女性たちについてご講演いただき、NGO セミナーではアフガニスタンでの女性への医療保健や国際協力について広く市民に知っていただくためのセミナーを開催した。

(ア) 第 67 回国連女性の地位委員会 (CSW67) 報告会

① 報告内容 CSW67 について

<優先テーマ>

「ジェンダー平等とすべての女性・少女のエンパワーメント達成のためのデジタル時代における革新、技術変革及び教育」

<レビューテーマ>

「農山漁村女性・少女のジェンダー平等とエンパワーメント達成のための課題と機会 (CSW62 の合意結論)」

② 日時 令和 5 年 5 月 30 日 (火) 14:00 ~ 15:30

③ 場所 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ (オンライン配信及び会場視聴)

④ 報告者 (CSW67 の会議概要報告)
堀内光子 (KFAW 理事長)

⑤ 発表者

CSW67 現地レポート

奥崎鈴彩 (株式会社 GOTEN リゾート 日本 BPW 連合会会員 北九州市立大学外国語学部英米学科卒)

NGO フォーラム パラレルイベント参加報告

上野真由子 (アジア女性交流・研究フォーラム国際交流課)

⑥ 参加者 47 名 (オンライン 42 名 会場視聴 5 名)

⑦ 事後配信 YouTube 配信 令和 5 年 6 月上旬より 1 ヶ月程度

(イ) 国際理解セミナー

「世界をつなげるフィリピンの女性たち～

ナース、家事・介護労働者からコールセンターまで～」

① 日時 令和 5 年 12 月 9 日 (土) 14:00 ~ 16:00

② 場所 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ (オンライン配信及び会場視聴)

③ 講師 小ヶ谷千穂 (フェリス女学院大学文学部教授)

④ 参加者 33 名 (オンライン 29 名 会場 4 名)

(ウ) NGO セミナー

① 「アフガニスタンの大地より」

- (a) 日時 令和 5 年 9 月 2 日 (土) 14:00 ~ 16:00
- (b) 場所 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ
会場参加、オンライン配信 (Zoom)
- (c) 講師 藤田千代子
(ペシャワール会 PMS 支援室 室長および PMS 総院長補佐)
- (d) 参加者 115 名 (会場 67 名 オンライン 48 名)

② 「わたしたちは 13 歳 職業、兵士」

- (a) 日時 令和 6 年 3 月 2 日 (土) 14:00 ~ 16:00
- (b) 場所 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ
会場参加、オンライン配信 (Zoom)
- (c) 講師 鬼丸昌也 (認定 NPO 法人 テラ・ルネッサンス創設者・理事)
- (d) 参加 47 名 (会場 24 名 オンライン 23 名)

(エ) 国連ウイメン日本協会北九州 講演会「アフリカと夫と私」【共催事業】

- ① 日時 令和 5 年 12 月 3 日 (日) 14:00 ~ 15:45
- ② 場所 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ
会場参加、オンライン配信 (Zoom)
- ③ 講師 川原佳代 (認定 NPO 法人ロシナンテス 教育担当)
- ④ 参加者 151 名 (会場 121 名 オンライン 30 名)
- ⑤ 主催 国連ウイメン日本協会北九州
共催 (公財) アジア女性交流・研究フォーラム

ウ 高校生向け男女共同参画意識の啓発

高校生が将来に向けて、自己実現やジェンダー平等を考えるためのセミナーを実施した。

(ア) 高校生セミナー「大学の講義にドキドキ!大学生と語る今どきジェンダー!」

(北九州 ESD 協議会との共同実施)

- ① 内容 北九州市立大学地域創生学群准教授寺田千栄子氏にご講義いただいた後、高校生がジェンダーに関するワークショップを通じて SDG5 (ジェンダー平等及び女性・少女のエンパワーメント) について学び、課題を共有して発表を行った。
- ② 日時 令和 5 年 8 月 10 日 (木) 13:30 ~ 16:00
- ③ 場所 北九州市立大学 北方キャンパス
- ④ 企画運営 北九州市立大学地域創生学群 ESD プロモート実習生
- ⑤ 参加者 高校生 26 名 (公募)

(2) 海外拠点ネットワークの形成

SDGs 達成への取り組みを通じて、目標 5 を主とした海外拠点ネットワーク形成を目指し情報共有を図るため、フォーラムの活動内容をホームページで紹介した。

(3) 海外派遣

令和 6 年 3 月にニューヨークで開催された第 68 回国連女性の地位委員会（CSW68）への参加登録の機会を当財団の関係者に提供した。

3 情報収集・発信事業

ウェブニュースレター『Asian Breeze』の配信、ホームページ、SNS などを活用しながら、アジア地域の女性に関する情報収集・発信やフォーラムの活動についての情報発信を行った。

(1) ウェブニュースレター『Asian Breeze』等の配信・発行

主にアジア・太平洋諸国の女性に関する情報やフォーラムの活動を広く国内外に情報発信し、ジェンダー問題に対する理解の浸透を図っていくため、ウェブニュースレター『Asian Breeze』（日本語・英語版）を配信した。

また、KFAW の年間事業報告書『令和 4（2022）年度 年報』を発行した。

ア ウェブニュースレター『Asian Breeze』（日本語版、英語版）の配信

- (ア) 第 96 号 令和 5 年 5 月
- (イ) 第 97 号 令和 5 年 8 月
- (ウ) 第 98 号 令和 5 年 9 月
- (エ) 第 99 号 令和 5 年 12 月
- (オ) 第 100 号 令和 6 年 1 月
- (カ) 第 101 号 令和 6 年 3 月

イ 年間事業報告書の発行

KFAW の年間事業報告書『令和 4（2022）年度 年報』を発行した。

- (ア) 発行部数 250 部
- (イ) 発行時期 令和 5 年 8 月

ウ ホームページ、Facebook、X、Instagram アクセス等件数	158,538 件
(内訳) ホームページ（日 / 英）	119,776 件
Facebook（日 / 英）	14,776 件
X（日 / 英）	4,374 件
Instagram（日 / 英）	19,612 件

(2) 海外通信員事業

アジア・太平洋諸国を中心とした海外のジェンダー平等に関わる最新の状況について情報収集を行い、「KFAW ランチタイムトーク」の実施やホームページ、SNS などを通じて情報発信を行った。

ア KFAW ランチタイムトーク

(ア) 第1回「インド×国際協力—児童労働ゼロにむけた NGO ACE の取組み」

- ① 日時 令和6年1月30日(火) 12:10～12:40
- ② 場所 オンライン配信
- ③ 出演者 杉山綾香(認定NPO法人 ACE 理事)
- ④ 参加者 31名

(イ) 第2回「リモートワークで実現! 山口の島での子育てと仕事の両立」

- ① 日時 令和6年2月27日(火) 12:10～12:40
- ② 場所 オンライン配信
- ③ 出演者 原元 望(認定NPO法人 Free The Children Japan 副代表理事)
- ④ 参加者 34名

(ウ) 第3回「風通しの良い社会へ 知ってもらうことで差別をなくす。」

- ① 日時 令和6年3月27日(水) 12:10～12:40
- ② 場所 オンライン配信
- ③ 出演者 石田由香理(JICA 職員)
- ④ 参加者 36名

4 国際研修事業

開発途上国におけるジェンダー主流化の政策立案や推進が可能な行政官を育成する国際研修を独立行政法人国際協力機構九州センター(JICA九州)から1回受託し、ブータン国内の女性や子どもの保護とケアの担当保護官向けの「ブータン・女性と子どもの保護とケア」の来日研修などを実施した。

ア 研修概要

＜行政官のためのジェンダー主流化政策 2023＞

- (ア) 期間 令和5年6月28日(水)～7月27日(木)
- (イ) 場所 北九州市、東京
- (ウ) 研修 9カ国9名(メキシコ、パキスタン、モルディブ、ネパール、フィジー、マーシャル諸島、ケニア、パプアニューギニア、マリ)

＜ブータン・女性と子どもの保護とケア＞

- (ア) 期間 令和5年5月11日(木)～6月16日(金)
- (イ) 場所 北九州市、東京
- (ウ) 研修員 32名(ブータン国全県に配置された女性と子どもの保護やケアを担当する保護官やNGO、警察官を2回に分けて実施)

イ 市民交流会の開催

ムーブと共催で、7月のムーブフェスタ期間中に2部構成のイベントステージを開催した。第1部を「世界の行政官とおしゃべりしよう～ジェンダーカフェにようこそ～」と題し、「行政官のためのジェンダー主流化政策研修」で来日した行政官と市民がジェンダーに関する意見交換を行った。ジェンダー課題を通じ、各国の文化や慣習についても関心や理解を深めるディスカッションを開催した。

＜行政官のためのジェンダー主流化政策 2023＞

- (ア) 日時 令和5年7月15日(土) 1部 13:00～15:30
- (イ) 場所 ムーブ1階交流広場
- (ウ) 参加者 77名

ウ その他研修

JICAの人材育成奨学計画(JDS)により、現在日本の大学院に留学しているガーナ、ネパール、エルサルバドルの行政官向けに、JDS事業受託業者から依頼を受けジェンダー研修を実施した。

＜JDSガーナ、ネパール、エルサルバドル留学生最終研修における講義＞

- (ア) 日時 令和6年2月29日(木) 10:00～12:00
- (イ) 場所 オンライン
- (ウ) 参加者 36人
- (エ) 内容 「KFAW・ムーブ、北九州市の取り組み」講義とワークショップ

5 その他

大学生・高校生による体験学習等の受入

ア 青山学院大学「地域実習」

- (ア) 時期 令和5年7月4日(火)～8日(土) 5日間
- (イ) 参加者 青山学院大学コミュニティ人間科学部3年生 3名
- (ウ) 指導者 青山学院大学地域実習担当教官 大島まな(九州女子大学人間科学部教授)
- (エ) 内容 ムーブフェスタ市民企画事業参加団体との交流・意見交換、課題学習等

イ 福岡県立小倉高等学校体験活動「フィールドリサーチ」

- (ア) 時期 令和5年7月11日(火) 14:00～16:00
- (イ) 参加者 小倉高等学校第1学年 生徒24名
- (ウ) 内容 事前学習の成果発表と講評、フォーラム・ムーブの取り組み

ウ 北九州市立大学インターンシップ

- (ア) 時期 令和5年9月6日(水)～8日(金)
- (イ) 参加者 北九州市立大学 学生1名
- (ウ) 内容 フォーラム・ムーブの業務の説明と体験

公益目的事業Ⅱ

男女共同参画に関する事業を通じて男女共同参画社会の形成を推進する事業

【概況】

アジア女性交流・研究フォーラムは、平成 18 年度から北九州市立男女共同参画センター・ムーブの指定管理者として培った経験や地域との関係を踏まえ、令和 5 年度においても男女共同参画社会の推進を担う拠点施設としての各種事業を実施した。

事業実施にあたっては、「第 4 次北九州市男女共同参画基本計画」を踏まえながら、国連が定めた地球規模の行動計画である持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けて、

- ① ジェンダー主流化
- ② 就業に関する女性のエンパワーメント（能力構築）
- ③ 固定的な男女の役割分担意識の解消
- ④ 若い世代の男女共同参画意識の向上

等を重点に、ジェンダー問題の解決に向けた「市民をはじめ不特定多数の利益の増進に寄与する」公益目的事業を実施した。

1 指定管理事業

(1) 男女共同参画センター管理運営業務

男女共同参画社会の形成に向けて各種男女共同参画事業等を実施するとともに、相談事業、情報事業、施設管理業務を行った。

また、KFAW で開発したキャリア形成プログラムを、KFAW の成果を活かして、平成 28 年度からムーブで実施している。

ア 男女共同参画事業（9 事業、参加延人数 1,856 名）

(ア) 男女共同参画講座（4 事業、参加延人数 1,411 名）

男女共同参画に関する講座、講演会、シンポジウムを開催し、ジェンダーをめぐる諸問題について啓発を行い、取り組みを促進した。

① 男女共同参画啓発講座

(a) 「わたしが始める！わたしサイズの政治参画」

講師：能條桃子（NOYOUTH NOJYAPAN 代表）

(b) ムーブ映画祭

映画『夕陽のあと』

上映会&樋口智巳さん（小倉昭和館 館主）と中島俊介さん（シネクラブサポート会会長 西南女学院大学教授）によるトークイベント

(c) 出前講座（門司生涯学習センター大里分館）

「集団の中で臆することなく話す力をつけるには～参画とは発言すること～」

講師：中島俊介（西南女学院大学 教授・北九州市立大学 名誉教授、臨床心理士）

(d) 出前講座（八幡東生涯学習センター尾倉分館）

「素敵な言葉を素敵な声で！

伝わる話し方でコミュニケーションを磨く」

講師：藤重知子（合同会社ふじこカンパニー代表、声と話し方コンサルタント）

② おとこのライフセミナー

「男が働かない、いいじゃないか！」

講師：田中俊之（大妻女子大学人間関係学部 准教授）

③ 高校生向け男女共同参画意識の啓発

「大学の講義にドキドキ！大学生と語る今どきジェンダー！」（KFAW 共催事業・再掲）

企画・運営 北九州市立大学地域創生学群 ESD プロモート実習生

④ 語学講座（英会話）

(イ) 生活技術講座（5事業、参加延人数 445名）

男女の性別役割分担意識にとらわれずに、生活面でのあらゆる分野で学習、研究することにより、その技術の習得を図った。

① 男性向け講座（エプロン男子、父と子の食育講座、介護男子）、おとこの魅力アップシリーズ（おそうじ男子、育児男子、緑茶男子、家事シェア男子、時短料理男子、出前講座「メンズご飯！」、出前講座「男のたしなみ～コーヒー編～」ほか）

② 親子木工教室

イ 女性のエンパワーメント事業（11事業、参加延人数 2,829名）

女性の継続的な就業やキャリアアップのための支援を行うとともに、企業、地域等様々な分野での意思決定過程への女性の参画を進めるため、指導的な地位へ成長していく層の育成支援を行った。

(ア) 働く女性のためのフォローアップ・ネットワーク形成

① 働く女性のためのフォローアップセミナー

『職場と私の「ウェルビーイング」を考えよう』

講師：前野隆司（慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科教授）

② ムーブカフェ

実施回数：2回

講師：吉水請子（ファディ株式会社 取締役 / 商品経営本部長）

松田理恵（株式会社タカギ 総務人事部長 ダイバーシティ推進担当）

(イ) 働く女性に贈る！お役立ちワンポイントセミナー

(ウ) キャリア形成プログラム（再掲）

① 九州国際大学

実施回数：4回

講師：大島まな（九州女子大学・九州女子短期大学地域教育実践研究センター 所長）

湯浅壘道（明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科 教授）

廣瀬 幸（九州工業大学工学研究院電気電子工学研究系 准教授）

山脇直祐（日本経済大学 経済学部経済学科 講師）

② 九州女子大学

実施回数：1回

講師：仙波亮一（京都橘大学経営学部 准教授）

③ 九州共立大学

実施回数：2回

講師：仙波亮一（京都橘大学経営学部 准教授）

山脇直祐（日本経済大学経済学部経済学科 講師）

④ 西南女学院大学

実施回数：1回

講師：松本幸一（九州国際大学法学部 教授）

ロールモデル：松本麻子（北九州市障害者基幹相談支援センター 小児慢性特定疾病支援室長 / 相談担当課長）

(エ) 資格取得講座（介護事務講座、医療事務講座など）

(オ) パソコン講座 ほか

ウ 生涯を通じた女性の健康支援事業（4事業、参加延人数 5,778名）

女性の多様な活動を支えるために、心と身体の健康を家庭や職場など日常生活の中で、維持増進できるように、技術と知識の習得の機会を提供する「リプロダクティブ・ヘルス／ライツ」に関する講座等を開催した。

(ア) リプロダクティブ・ヘルス／ライツ講座

「男の子の～『性』～泌尿器科医から見た思春期の心と体～」

講師：池田 稔（泌尿器科医、池田クリニック院長）

(イ) 健康講座

① 心も身体もリフレッシュ！シェイプアップヨガ

② 冷えにさよなら！リラックスヨガ

③ ニュースポーツ健康教室

④ 楽しく踊ろう健康ダンス教室

(ウ) いまどきママのリフレッシュ講座

(エ) フィットネスルームの個人利用

エ 市民活動支援・連携事業（4事業、参加延人数 702名）

さまざまな活動を行っている団体やグループの情報交換、交流を促進し、ネットワーク化を図ることによって、男女共同参画センターを利用する個人、団体、グループが相互に新たな発見をし、男女共同参画社会の形成を目指すための自主的・創造的な活動ができるよう支援・連携して事業を展開した。

(ア) ムーブ学生活動プロジェクト（北九州市立大学地域創生学群 ESD プロモート実習）

(イ) ムーブサポーター事業

(ウ) 人権を考える企業のつどい

(エ) 虐待予防事業～ポジティブ・ディシプリン®

オ ムーブフェスタ 2023

全体のテーマが「耀く」、キャッチコピーは「跳びだそう 耀く明日へ ムーブとともに!!!」とし、市民の自主的な研究・実践活動を積極的に支援する市民企画事業を中心に、講演会、イベント等の事業を行った。

期間 令和5年7月1日(土)～令和5年7月22日(土)

参加延人数 32,000人(うち男性 7,548人)

(ア) 主催事業 (5事業)

- ① オープニングイベント 講演会
「生き辛さの処方箋～「分人」という発想～」
講師：平野啓一郎(小説家)
- ② イベントステージ
第1部「世界の行政官とおしゃべりしよう～ジェンダーカフェによるこそ～」
(KFAW共催)
第2部「アフリカンスペシャルステージ～大地の鼓動を体感せよ!～」
- ③ 第25回ジェンダー問題 調査・研究報告会
- ④ 行列のできる!? 法律相談Q&A
- ⑤ マガジンリサイクル

(イ) 市民企画事業

総事業数 95事業

(イベント58事業、サマーカーニバル9事業、フリーマーケット28事業)

カ 相談事業

心の問題や生き方、性別による人権侵害、就労や法律に関する相談等について、相談室相談員をはじめ臨床心理士、キャリアコンサルタント、弁護士がジェンダーの視点に立って相談に応じた。また、離婚に関する女性の法律基礎講座や男性の法律相談会、内閣府の「女性に対する暴力をなくす運動」に連動した特別講座、福岡県弁護士会北九州部会との共催によるホットライン事業等を実施した。

(ア) 相談

こころと生き方の一般相談・性別による人権侵害相談・女性のための元気アップ相談(就労)・男性のための電話相談・女性のための無料法律相談等

区分	電話	面接	メール等	合計	
こころと生き方 一般相談	3,395件	40件	11件	3,446件	4,185件
ライン相談(9か月間) 受託・モデル事業	—	—	210件	210件	
人権侵害相談	90件	0件		90件	
女性の法律相談	—	127件		127件	
女性のための 元気アップ相談	130件	56件		186件	
男性電話相談	126件	—		126件	

(イ) 講座等（4 講座、参加延人数 217 名）

- ① 女性のための離婚に関する法律基礎講座
- ② 男性のための離婚に関する法律相談会①②
- ③ 女性への暴力ゼロ運動特別講座『DV 加害者は変われるか』
- ④ グループ相談（試行実施）

(ウ) ホットライン（相談件数 20 件）

福岡県弁護士会北九州部会、配偶者暴力相談支援センターとの共催で、弁護士等が女性の
人権侵害等に関する相談に電話で応じた。

- ① 女性の権利ホットライン【内閣府「男女共同参画週間」事業】
- ② 女性への暴力ゼロ！ホットライン【内閣府「女性に対する暴力をなくす運動」事業】

(エ) その他啓発

- ① パネル展示
 - ・デート DV 防止「大切にしよう、自分のこと」
 - ・DV 防止「身体的暴力だけが DV ではありません」
- ② 「女性に対する暴力をなくす運動」街頭啓発キャンペーンに協力（小倉駅前広場）

キ 情報事業

(ア) 情報収集提供事業

男女共同参画社会の実現に向けて、ジェンダー問題に関する図書や資料等の収集・提供を行
うとともに、絵本等の読み聞かせ会を開催した。また、市内等で活動している団体やムーブの
施設・講座等の情報をホームページ、フェイスブックやインスタグラム、ムーブメール等によ
り提供した。

① 図書・資料等の収集

ジェンダー問題関連の図書を中心に、行政資料、雑誌、児童書、DVD 等の収集・提供の
充実を図った。

(a) 蔵書数（令和 6 年 3 月 31 日現在）

図書 56,500 冊、雑誌 4,977 冊、DVD116 本

② 図書・資料等の提供（貸出等）

図書の貸出・返却及び利用者並びに資料の登録・検索、図書統計資料の作成等に関する管
理を北九州市立図書館とオンライン化した電算システムで行った。また、北九州市立図書館
共通図書カードにより貸出を行うとともに、北九州市の各図書館との相互貸借も行った。

(a) 図書情報室利用状況（令和 5 年 4 月～令和 6 年 3 月 31 日）

貸出冊数 31,435 冊、貸出者数 12,202 人

(b) 親子を対象に絵本の読み聞かせをする「おはなし会」の開催 ほか

③ 男女共同参画関連情報の収集・提供

(a) 団体情報（ムーブネット）の収集提供

男女共同参画社会の実現のために市内及び近郊で活動している団体（グループ）の情報
を情報システム「ムーブネット」により管理・提供した。

・登録件数 64 件（令和 6 年 3 月 31 日）

④ その他の情報提供

(a) ホームページ・フェイスブック・インスタグラム

ムーブの講座、イベント、図書、貸室などの最新情報を随時更新し、ホームページ等で提供した。

・アクセス件数（令和5年4月～令和6年3月31日）

ホームページ	221,671件
フェイスブック	16,621件
インスタグラム	22,220件

(b) ムーブメール（メールマガジン）

ムーブの講座・イベントなどの最新情報を掲載したメールマガジン「ムーブメール」を月1回配信した。

・ムーブメール登録者数 419人（令和6年3月31日現在）

(イ) 調査研究事業

① ジェンダー問題 調査・研究支援事業

(a) 令和5/6年度ジェンダー問題 調査・研究支援事業

ジェンダー問題を自主的に調査研究し、その問題解決を図るための糸口を見出そうと取り組んでいる市民グループ・研究者等を支援するために、その調査費の一部（第1・2年度それぞれ上限25万円）を助成した。令和5年度は、基礎調査（文献・インタビュー調査）を行う支援をした。研究成果として、令和7年3月に調査・研究結果をまとめた報告書を発行する予定である。

・テーマ：「都市計画マスタープランにおける女性参画の実態に関する研究」

・研究者：土屋泰樹（富山大学 都市デザイン学部 都市・交通デザイン学科 特命助教）

② ジェンダーに関する啓発冊子の発行等事業

(a) 冊子『北九州市における女性の活躍推進実態調査2023』発行

北九州市内の事業所では、女性の活躍に関してどのような取り組みが行われているのか。その実態を把握するために調査を実施し、結果をまとめた『北九州市における女性の活躍推進実態調査2023』を発行した。

・調査対象 北九州市内の従業員数50人以上の民間・公営事業所

・調査項目 女性の雇用状況 育児休業制度 年次有給休暇 健康経営 旧姓使用の制度等

・発行部数 1,000部

(b) 『北九州市の男女共同参画統計データ集2020』のデータの一部をホームページに掲載し、随時更新した。

③ 男女共同参画に関する啓発事業

ムーブが発行した啓発冊子の活用と広報をテーマとした講演会や研修会を実施した。

(a) 大学生・高校生による体験学習等の受入

- ・福岡県立小倉高等学校体験活動「フィールドリサーチ」

日 時：令和 5 年 7 月 11 日（火）14:00～16:00

参加者：小倉高等学校第 1 学年 生徒 24 名

内 容：事前学習の成果発表と講評、フォーラム・ムーブの取組み

- ・青山学院大学「地域実習」

日 時：令和 5 年 7 月 4 日（火）～8 日（土）5 日間

参加者：青山学院大学コミュニティ人間科学部 3 年生 3 名

指導者：大島まな（青山学院大学地域実習担当教官）

内 容：ムーブフェスタ市民企画事業参加団体との交流・意見交換、課題学習等

- ・北九州市立大学インターンシップ

日 時：令和 5 年 9 月 6 日（水）～8 日（金）

研修生：北九州市立大学 学生 1 名

内 容：フォーラム・ムーブの業務の説明と体験

(b) 出前研修の実施

- ・北九州市女性団体連絡会議総会「改めて考える男女共同参画」

日 時：令和 5 年 4 月 28 日（金）14:30～15:30

参加者：約 100 名

内 容：男女共同参画に関する講演

- ・ESD 推進いきいきシニア塾「男女共同参画（ジェンダー平等）の勧め

～人生 100 年時代を（“呪い”ではなく）恵みとするために～

日 時：令和 5 年 10 月 16 日（月）10:00～12:00

参加者：30 名

内 容：男女共同参画に関する北九州市や日本、世界の現状

- ・北九州商工会議所正副会頭会議卓話「男女共同参画（ジェンダー平等）の勧め

～“人生 100 年時代”長寿社会の処方箋～

日 時：令和 5 年 12 月 5 日（火）15:00～15:40

参加者：商工会議所正副会頭及び幹部職員 26 名

内 容：男女共同参画に関する課題など

(ウ) 広報事業

① 情報誌『ムービング』の発行

(a) 発行日 100 号 令和 5 年 6 月 10 日

101 号 令和 5 年 10 月 1 日

102 号 令和 6 年 2 月 29 日

(b) 発行部数 100 号 7,000 部、101 号および 102 号 6,500 部

ク 施設管理業務

市民が安心して安全に利用でき、さらに利用しやすい施設とするため、環境面に考慮しつつ計画的かつ効率的な設備の充実・改修を行った。

また、視察の受入れなど、他都市等との連絡調整を行った。

(ア) 施設維持管理業務

安全・安心の観点から、施設・設備の定期的な保守点検や計画的な補修等、環境整備に努め、SNS や防災研修（消防訓練、AED 操作研修等）などの職員研修を実施した。

(イ) 貸室業務

主催事業で利用しない施設について、市民グループ・企業等に貸出しを行った。（原則有料）

・令和 5 年度貸室利用人数 105,711 人

《参考：総利用者数 176,406 人（うち主催事業参加延人数 70,695 人）》

(ウ) その他

① 視察受入れ

他都市等からの視察を受入れ、事業説明・意見交換や施設見学を行った。

・視察件数 14 件、延人数 175 人

② 講師派遣

各団体からの依頼に応じ、ハラスメント防止や男女共同参画等について講師を派遣し、講演・研修を実施した。

・派遣件数 23 件、延人数 1,422 人

（うち 12 件 287 人 ハラスメント出前講座）

2 自主事業

(1) 男女共同参画センター自主事業

ア 男女共同参画講座（英会話）

イ 就業支援講座（医療事務講座、介護事務講座、パソコン講座 等）

ウ 生活技術講座（夏休み親子木工教室）

エ 健康講座（シェイプアップヨガ 等）

令和5年度 北九州市立男女共同参画センター“ムーブ” 利用状況

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

室名	区分	開所日数 (日)	利用日数 (日)	利用率 (%)	利用人員(人)					
					主催事業	(男性内数)	貸室利用	(男性内数)	総利用者数	(男性内数)
ホール		344	156	45.3%	3,135	794	22,383	9,785	25,518	10,579
大セミナールーム		344	229	66.6%	1,319	193	11,785	4,739	13,104	4,932
小セミナールーム		344	241	70.1%	994	197	5,079	2,207	6,073	2,404
企画ルーム1		344	247	71.8%	640	150	3,083	1,367	3,723	1,517
企画ルーム2		344	271	78.8%	34	7	2,680	965	2,714	972
料理室		344	115	33.4%	516	317	599	171	1,115	488
和室(茶室兼備)		344	194	56.4%	139	6	1,665	500	1,804	506
茶室(立礼形式)		344	54	15.7%	13	1	322	113	335	114
フィットネスルーム	専用	344	269	78.2%	724	7	921	302	1,645	309
	個人				4,937	832	—	—	4,937	832
	小計				5,661	839	921	302	6,582	1,141
工芸室	専用	344	106	30.8%	341	98	734	194	1,075	292
	個人				0	0	—	—	0	0
	小計				341	98	734	194	1,075	292
OAルーム	専用	344	195	56.7%	1,004	61	0	0	1,004	61
	個人				114	15	—	—	114	15
	小計				1,118	76	0	0	1,118	76
グループ活動室		344	320	93.0%	42	4	6,417	4,005	6,459	4,009
こどもの部屋		344	60	17.4%	385	92	16	5	401	97
交流広場		344	317	92.2%	27,291	6,518	50,027	18,994	77,318	25,512
相談室		—	—	—	4,492	612	—	—	4,492	612
図書・情報室		—	—	—	24,484	9,794	—	—	24,484	9,794
オンライン受講者		—	—	—	91	0	—	—	91	0
合計		—	—	—	70,695	19,698	105,711	43,347	176,406	63,045

男性利用率 35.7%

(参考)・前年度(令和4年度)…………… 164,219人 (内男性 55,563人) (男性利用率 33.8%)

内訳 { 主催 74,657人 (内男性 21,174人)
貸室 89,562人 (内男性 34,389人) }

開所からの利用者累計(H7年7月～R6年3月) …………… 7,540,202人

講師派遣参加者数・視察受入数

	令和5年度累計 (R5年4月～R6年3月)		令和4年度累計 (R4年4月～R5年3月)	
	件数	人数	件数	人数
講師派遣参加者数	23件	1,422人	24件	2,292人
視察受入数(国内)	14件	175人	1件	7人
視察受入数(国外)	0件	0人	0件	0人
合計	37件	1,597人	25件	2,299人

収益事業等

その他事業Ⅰ：北九州市大手町ビル維持管理事業

【概況】

北九州市大手町ビル（北九州市立男女共同参画センター以外）の施設・設備の保守点検及び修繕による維持管理、並びに光熱水費の管理を行うとともに、北九州市大手町ビルの入居団体との施設の維持管理、防災、環境などに関する連絡、調整を行った。

その他事業Ⅱ：北九州市立男女共同参画センター等の公益目的以外の貸与事業

【概況】

北九州市立男女共同参画センターにおいて、指定管理事業の一環として、公益目的以外に使用する団体等に施設の貸与を行った。

法人事業

法人事業

【概況】

理事会・評議員会の開催や情報システムのセキュリティ対策、職員対象の様々な研修の実施など、公益財団法人として適正な管理運営を行うとともに、フォーラム賛助会員の加入促進を行った。

1 理事会・定時評議員会の開催

理事会を5回（うち3回はみなし決議）及び評議員会を3回（定時1回、臨時2回、臨時はみなし決議）開催し、予算・決算及び事業計画・事業報告等の承認、理事長及び専務理事の職務執行状況の報告並びに役員交代等、公益財団法人の運営の根幹となる重要事項の決議等を行った。

第1回理事会	令和5年4月27日みなし決議
臨時評議員会	令和5年5月12日みなし決議
第2回理事会	令和5年6月6日開催
定時評議員会	令和5年6月21日開催
第3回理事会	令和5年6月21日みなし決議
第4回理事会	令和5年12月6日みなし決議
臨時評議員会	令和5年12月25日みなし決議
第5回理事会	令和6年3月7日開催

2 情報システムのセキュリティ対策及び職員研修の実施

情報システムの管理について、随時セキュリティ対策を行い、ウイルスやハッキングなどを未然に防止した。また、個人情報保護、接遇マナー、ハラスメント防止等の職員研修を実施するなど適正な管理運営に努めた。

3 賛助会員加入の促進

多くの方々とのネットワークの拡大や財政基盤の強化を図るため、賛助会員の加入促進に努めました。

【令和5年度実績】 会費収入 467,000円

区分	年額（1口）	加入人数	加入口数
個人	3,000円	47名	48口
団体	20,000円	15件	16口
学生	1,500円	2名	2口

財務諸表

貸借対照表内訳表

令和6年3月31日現在

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	合 計
I 資産の部				
1. 流動資産		1,862,331		
現金預金	27,143,008		13,327,228	42,332,567
未収金	6,287,600		0	6,287,600
貯蔵品	2,494,261			2,494,261
仮払金	146,000	0	0	146,000
流動資産合計	36,070,869	1,862,331	13,327,228	51,260,428
2. 固定資産				
(1)基本財産				
定期預金	26,894		26,893	53,787
投資有価証券	164,645,993		164,645,993	329,291,986
基本財産合計	164,672,887		164,672,886	329,345,773
(2)特定資産				
特定資産合計				
(3)その他固定資産				
什器備品	598,185		0	598,185
電話加入権	245,000		245,000	490,000
その他固定資産合計	843,185		245,000	1,088,185
固定資産合計	165,516,072		164,917,886	330,433,958
資産合計	201,586,941	1,862,331	178,245,114	381,694,386
II 負債の部				
1. 流動負債		1,862,331		
未払金	15,442,382		228,106	17,532,819
前受金	574,240			574,240
預り金	802,651		15,247	817,898
仮受金	11,000			11,000
流動負債合計	16,830,273	1,862,331	243,353	18,935,957
2. 固定負債				
固定負債合計				
負債合計	16,830,273	1,862,331	243,353	18,935,957
III 正味財産の部				
1. 指定正味財産				
市補助金	150,000,000		150,000,000	300,000,000
寄付金	11,583,048		11,583,047	23,166,095
指定正味財産合計	161,583,048		161,583,047	323,166,095
(うち基本財産への充当額)	161,583,048		161,583,047	323,166,095
(うち特定資産への充当額)				
2. 一般正味財産		0		
(うち基本財産への充当額)	23,173,620		16,418,714	39,592,334
(うち特定資産への充当額)	3,089,839		3,089,839	6,179,678
正味財産合計	184,756,668	0	178,001,761	362,758,429
負債及び正味財産合計	201,586,941	1,862,331	178,245,114	381,694,386

正味財産増減計算書内訳表

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計			収益事業等会計			法人会計	合 計
	日本及びアジア地域の女性の地位向上支援事業	男女共同参画社会の形成支援事業	小 計	北九州市大手町ビル維持管理事業	男女共同参画センター公益目的外貸与事業	小 計		
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1)経常収益								
基本財産運用益	1,715,512		1,715,512				1,715,511	3,431,023
受取会費	233,500		233,500				233,500	467,000
事業収益	293,283		293,283					293,283
指定管理施設自主事業収益		4,548,577	4,548,577					4,548,577
委託料収益	6,978,211		6,978,211					6,978,211
北九州市委託金収益	1,815,000	181,522,056	183,337,056	38,027,630	50,170,282	88,197,912	19,000,000	271,534,968
受取補助金等	20,000,000		20,000,000					39,000,000
雑収益	38,454	212,560	251,014					251,014
経常収益計	31,073,960	186,283,193	217,357,153	38,027,630	50,170,282	88,197,912	20,949,011	326,504,076
(2)経常費用								
事業費	38,302,378	188,838,526	227,140,904	38,027,630	50,170,282	88,197,912		315,338,816
管理費								
経常費用計	38,302,378	188,838,526	227,140,904	38,027,630	50,170,282	88,197,912	14,342,020	14,342,020
当期経常増減額	▲ 7,228,418	▲ 2,555,333	▲ 9,783,751	0	0	0	6,606,991	▲ 3,176,760
2. 経常外増減の部								
(1)経常外収益								
経常外収益計								
(2)経常外費用								
経常外費用計								
当期経常外増減額								
当期一般正味財産増減額	▲ 7,228,418	▲ 2,555,333	▲ 9,783,751	0	0	0	6,606,991	▲ 3,176,760
一般正味財産期首残高	17,754,106	15,203,265	32,957,371	0	0	0	9,811,723	42,769,094
一般正味財産期末残高	10,525,688	12,647,932	23,173,620	0	0	0	16,418,714	39,592,334
II 指定正味財産増減の部								
基本財産運用益	1,715,512		1,715,512				1,715,511	3,431,023
一般正味財産への振替額	1,715,512		1,715,512				1,715,511	3,431,023
当期指定正味財産増減額	0		0				0	0
指定正味財産期首残高	161,583,048		161,583,048				161,583,047	323,166,095
指定正味財産期末残高	161,583,048		161,583,048				161,583,047	323,166,095
III 正味財産期末残高	172,108,736	12,647,932	184,756,668	0	0	0	178,001,761	362,758,429

財務諸表に対する注記

令和 6 年 3 月 31 日現在

1. 継続事業の前提に関する注記

継続事業を行うにあたって、重要な疑義を抱かせるような事象または状況は存在しない。

2. 重要な会計方針

- (1) 「公益法人会計基準」(平成 20 年 4 月 11 日 令和 2 年 5 月 15 日改正内閣府公益認定等委員会)を採用している。
- (2) 有価証券の評価基準および評価方法
満期保有目的の債券・・・取得原価
- (3) 固定資産の減価償却方法
什器備品・・・定率法
無形固定資産・・・定額法
- (4) 消費税の会計処理
消費税の会計処理は税込方式によっている。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	192,259	42,405	180,877	53,787
投資有価証券	329,153,514	20,138,472	20,000,000	329,291,986
合 計	329,345,773	20,180,877	20,180,877	329,345,773

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	53,787	(47,405)	(6,382)	-
投資有価証券	329,291,986	(323,118,690)	(6,173,296)	-
合 計	329,345,773	(323,166,095)	(6,179,678)	-

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
その他の固定資産			
什器備品	9,807,097	9,208,912	598,185
合 計	9,807,097	9,208,912	598,185

6. 満期保有目的の債券の内訳並びに取得価額、時価及び評価損益

(単位：円)

科目	取得価額	時 価	評価損益
投資有価証券			
29 神奈川県 20 年債	200,000,000	207,540,000	7,540,000
155 共同発行地方債	100,000	99,970	▲ 30
48 神奈川県 20 年債	90,000,000	77,315,220	▲ 12,684,780
第 179 回利付国債 (20 年)	9,750,000	8,438,216	▲ 1,311,784
第 182 回利付国債 (20 年)	9,303,514	9,096,155	▲ 207,359
第 186 回利付国債 (20 年)	20,138,472	20,539,271	400,799
合 計	329,291,986	323,028,832	▲ 6,263,154

7. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
市補助金	北九州市	300,000,000	0	0	300,000,000	指定正味財産
受取市補助金	北九州市	0	39,000,000	39,000,000	0	一般正味財産
合 計		300,000,000	39,000,000	39,000,000	300,000,000	

8. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産利息 (29 神奈川県 20 年債)	2,578,000
基本財産利息 (新潟県 25 年度第 1 回公債)	130,000
基本財産利息 (155 共同発行地方債)	220
基本財産利息 (48 神奈川県 20 年債)	476,100
基本財産利息 (第 179 回利付国債 20 年)	48,750
基本財産利息 (第 182 回利付国債 20 年)	104,475
基本財産利息 (第 186 回利付国債 20 年)	93,477
基本財産利息 (大和ネクスト銀行定期預金)	0
基本財産利息 (福岡銀行定期預金)	1
合 計	3,431,023

9. 関連当事者との取引の内容

該当なし

10. 重要な後発事象

該当なし

資 料

公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラムの歩み

- 1989年8月23日 北九州市の「自ら考え自ら行う地域づくり事業（ふるさと創生事業）」として「アジアの女性の研究・研修システム（仮称）アジア女性フォーラム」が101の案の中から選定される。
- 11月1日 アジア女性フォーラム（仮称）の基本構想について検討し、総合的な提言を得るため、北九州市長の私的諮問機関として、元労働省婦人少年局長高橋久子氏を委員長とする「アジア女性フォーラム基本構想委員会」が設置される。
- 12月26日 基本構想委員会が、組織の正式名称を「アジア女性交流・研究フォーラム」とすることを提言し、名称が決定する。
- 1990年1月19日 東京ドームで開催された「ふるさと創生展」において、アジア女性交流・研究フォーラムの目指す事業が、マルチスライドを使って紹介される。
- 2月11日 北九州市の7区に組織されている「女性会議実行委員会」の主催により、アジア女性交流・研究フォーラムの設立気運を盛り上げるため、各区においてシンポジウム・交流会・展示会・講演会等「アジア女性フォーラム各区イベント」が開催される。
- 3月30日 基本構想委員会が「アジア女性交流・研究フォーラム基本構想」を北九州市長に提言する。
- 3月31日 '90アジア国際シンポジウム「アジア・女性・未来～共に考え共に歩もう」を開催する。
- 6月～9月 第1回アジアセミナーを開催する。（～2000年まで毎年開催）
- 7月5日 アジア女性交流・研究フォーラムのより具体的な活動について検討するため、北九州市長の私的諮問機関として、「アジア女性交流・研究フォーラム懇談会」が設置される。
- 7月23日 アジア女性交流・研究フォーラム提言をもとに基本構想が策定される。
- 10月20日 **アジア女性交流・研究フォーラム設立**（理事長 高橋久子）
- 10月20日 アジア女性交流・研究フォーラムの設立を記念して、伊東すみ子東京高等裁判所判事を講師として、「国際社会における女性の役割」をテーマに講演会を開催する。
- 10月 共同研究事業「開発が女性と家族に与える影響」が開始される。
- 1991年3月9日 第1回アジア女性会議—北九州「アジアと女性の今」を開催する。
- ～10日 （以後毎年開催）
- 3月 情報誌『Asian Breeze』創刊
- 4月 プロジェクト研究事業が開始される。
- 5月 海外通信員制度始まる。（以後毎年実施）
- 12月1日 第2回アジア女性会議—北九州「政策決定における女性」を開催する。
- ～2日
- 1992年3月18日 第1回女性の地位向上のための行政官セミナー（JICAの委託事業）を開催する。
- ～27日 （以後毎年開催。2002年からは「ジェンダー主流化政策のための行政官セミナー」、2010年からは「行政官のためのジェンダー主流化政策」に名称変更）
- 7月24日 1993年10月を目標に財団法人化を図るため、基本財産積み立てのための募金活動を行う募金委員会が理事等の役員を中心に発足し、募金活動を開始する。
- 11月13日 第3回アジア女性会議—北九州「環境と開発と女性」を開催する。
- ～15日
- 11月24日 国連婦人開発基金（ユニフェム）の活動を支援するための組織として、ユニフェム日本国内委員会を国際婦人年連絡会および財団法人横浜女性協会とともに設立し、その正会員となる。

- 1993年 3月 『アジア女性シリーズ』第1号が発刊される。(中国)
- 5月 「国際理解のための教材ビデオ」制作事業を開始する。
- 9月17日 財団法人アジア女性交流・研究フォーラム設立発起人会を開催する。
- 9月22日 労働省より、財団法人としての設立を許可される。
- 10月1日 **財団法人アジア女性交流・研究フォーラム設立** (理事長 高橋久子)
- 11月19日 第4回アジア女性会議—北九州「地球の未来と人口」を開催する。
～21日
- 1994年 2月8日 高橋久子理事長が最高裁判所判事就任のため理事長を辞任する。三隅佳子専務理事が理事長代行となる。
- 4月 共同研究事業「アジアの働く女性シリーズ」を開始する。
- 9月1日 第1回海外通信員セミナーを開催する。
～8日
- 11月18日 第5回アジア女性会議—北九州「女性と家族」を開催する。
～20日
- 1995年 4月1日 北九州市から北九州市立女性センターの管理運営業務の委託を受ける。
- 6月15日 事務所を北九州市大手町ビルに移す。
- 6月22日 第2代理事長に奥田八二氏が就任する。
- 7月1日 北九州市立女性センターのオープニングイベントを開催する。
～8日
- 9月4日 国連婦人の地位委員会のオブザーバー参加資格を得る。国連第4回世界女性会議にオブザーバー参加する。また、NGOフォーラムにも参加し、ワークショップを開催する。
～11日
- 11月17日 第6回アジア女性会議—北九州「女性と労働」を開催する。
～19日
- 1996年 2月16日 第1回環境と開発と女性セミナー (JICAの委託事業) を開催する (～2008年まで毎年開催)
～3月21日
- 11月15日 第7回アジア女性会議—北九州「女性とメディア」を開催する。
～17日
- 1997年 1月 ホームページを開設する。
- 4月1日 三隅佳子専務理事が理事長代行となる。
- 9月22日 「客員研究員制度」を設置する。
- 11月7日 第8回アジア女性会議—北九州「女性と教育」を開催する。
～9日
- 1998年 3月24日 第3代理事長に高橋久子氏が就任する。
- 6月 「国際協力カレッジ」を開催する。
- 10月10日 財団設立5周年記念事業を実施する。
- 11月7日 第9回アジア女性会議—北九州「ジェンダーの視点の主流化 (メインストリーム) をめざして」を開催する。
～8日
- 12月12日 地球市民教育地域セミナーを開催する。
～13日

- 1999年 4月12日 「ジャパン・ソサエティ 地方政治・公共政策フェローシップ事業」を実施する。
 9月 「フォーラム懇話会」を実施する。
 10月17日 「女性起業家支援塾」（北九州市立女性センターの委託事業）を開催する。
 ～ 31日
 11月 6日 第10回アジア女性会議—北九州「男女共同参画の世紀を拓く～女性2000年会議とその後～」を開催する。
 ～ 7日
- 2000年 1月 9日 「女性起業家スタディツアー」（アメリカ サンフランシスコ）を実施する。
 ～ 15日
 6月 5日 国連特別総会「女性2000年会議—21世紀に向けての男女平等・開発・平和」にオブザーバーとして参加する。
 ～ 9日
 6月 5日 「女性2000年会議」に関連したNGOのシンポジウム「北京+5 グローバルフェミニストシンポジウム（アメリカ ニューヨーク）」に参加する。またワークショップを開催する。
 ～ 8日
 9月 3日 北九州市で開催された「アジア・太平洋環境大臣会議」の関連事業として「アジア・太平洋環境女性会議（第11回アジア女性会議—北九州）」を開催する。
 11月 自治大臣表彰「世界に開かれたまちづくり」を受賞する。
 12月28日 理事長制から会長制へ移行、その他諸規定についての寄附行為変更が認可される。
- 2001年 2月25日 「環境問題を考えるスタディツアー（マレーシア）」を実施する。
 ～ 3月 5日
 4月 1日 原ひろ子氏が初代会長に、第4代理事長に三隅佳子氏が、前理事長の高橋久子氏が顧問に、それぞれ就任する。
 7月26日 「持続可能な開発に関する世界首脳会議（WSSD）北東アジア準備会合及びマルチステークホルダー会合（中国 北京）」に参加する。
 ～ 28日
 7月～ 9月 北九州博覧祭 2001の関連事業を実施する。
 ・JICA研修員による報告「世界から日本へ！日本から未来へ」
 ・渥美雅子弁護士男女共同参画型講談「山内さんちのパートナーシップ」
 9月12日 第1回北東アジア女性環境会議（韓国 ソウル）に参加する。
 ～ 16日
 10月 6日 第12回アジア女性会議—北九州「自分らしく健康に生きる～ジェンダーを超えて」を開催する。
 ～ 7日
 11月24日 「持続可能な開発に関する世界首脳会議（WSSD）に向けてのハイレベル地域会合及び持続可能な開発に関するアジア太平洋ラウンドテーブル（カンボジア プノンペン）」に参加する。
 ～ 12月 1日
 11月28日 「アフガニスタン女性と子どもの写真展」とアフガニスタンセミナー Part1 を開催する。
 ～ 12月 2日
- 2002年 1月18日 環境シリーズセミナー「リオ+10 ヨハネスブルグ・サミットにむけて世界の準備状況」を開催する。
 2月 9日 北九州市と東京で「円卓会議：持続可能な開発に関する世界首脳会議（ヨハネスブルグ・サミット）に向けて」を開催する。
 ～ 17日
 3月 1日 第46回国連女性の地位委員会（CSW）（アメリカ ニューヨーク）に参加する。
 ～ 10日
 3月22日 アフガニスタンセミナー Part2 を開催する。
 3月23日 「WSSD 第3回準備会合（アメリカ ニューヨーク）」に参加する。
 ～ 4月 5日
 3月25日 「環境問題を考えるスタディツアー（中国、韓国）」を実施する。
 ～ 30日

- 4月1日 北九州市立女性センターの名称を北九州市立男女共同参画センターに変更する。
- 7月 国連経済社会理事会の NGO 協議資格を九州で初めて取得する。
- 7月31日 国際協力事業団（JICA）国際協力功労者表彰を受賞する。
- 8月23日 「持続可能な開発に関する世界首脳会議」（ヨハネスブルグ・サミット）に参加（フォーラムの主任研究員は日本政府代表の顧問を務めた）し、各国女性 NGO とワークショップを開催する。
- ～ 9月5日
- 10月12日 日本・中国・韓国・モンゴルからの女性環境活動家が集い、「第2回北東アジア女性環境会議（第13回アジア女性会議—北九州）」を北九州市と東京で開催する。
- ～ 14日
- 2003年3月2日 第47回国連女性の地位委員会（CSW）（アメリカ ニューヨーク）に参加する。
- ～ 16日
- 3月16日 第3回世界水フォーラム（京都、滋賀、大阪）に参加する。
- ～ 21日
- 5月 「国際協力カレッジ」から名称を変更した「KFAW カレッジ」を開催する。
- 5月17日 北九州市女性史の編纂を行うため北九州市女性史編纂実行委員会の設立に参画する。
- 10月11日 財団設立10周年記念事業を実施した。
- 12日 第14回アジア女性会議—北九州「女性のエンパワーメントと ICT」を開催する。
- 2004年2月26日 第48回国連女性の地位委員会（CSW）（アメリカ ニューヨーク）に参加する。
- ～ 3月13日
- 6月29日 「アジア太平洋 NGO フォーラム」参加スタディツアー（タイ バンコク）を実施する。
- ～ 7月4日
- 9月7日 国連アジア太平洋経済社会委員会ハイレベル会議（タイ バンコク）に参加する。
- ～ 10日
- 11月6日 第15回アジア女性会議—北九州「北京+10に向けて 人間の安性保障とジェンダー」を開催する。
- ～ 7日
- 2005年2月28日 第49回国連女性の地位委員会（CSW）「北京+10」閣僚級会合（アメリカ ニューヨーク）に参加する。
- ～ 3月6日
- 11月5日 第16回アジア女性会議—北九州「歴史を拓いた女性たち」を開催する。
- ～ 6日
- 12月7日 『北九州市女性の100年史 おんなの軌跡 北九州』を発刊する。
- 2006年1月16日 「インドで考える女性や子どもの人権スタディツアー」を実施する。
- ～ 23日
- 2月27日 第50回国連女性の地位委員会（CSW）に参加する。
- ～ 3月10日
- 2月19日 「ノーベル平和賞受賞者 ワンガリ・マータイさんと語る 北九州市民・環境フォーラム 世界の環境首都をめざして」を開催（エコライフステージ実行委員会との共催）する。
- 4月1日 北九州市立男女共同参画センターの指定管理者となる。
- 9月28日 北九州 ESD（持続可能な開発のための教育）協議会（44団体）が設立される。
- 10月 環境省「国連持続可能な開発のための教育の10年促進事業」の認定を受けた。
- 10月15日 『新聞にみる北九州市女性の100年史 おんなの軌跡・北九州』を発刊する。

- 11月11日 北九州市女性史演劇「秋の三色すみれ」を上演する。
～ 12日
- 11月18日 第17回アジア女性会議—北九州「公正で豊かな未来を創る～持続可能な開発のための教育とは～」を開催する。
～ 19日
- 12月5日 国連大学から持続可能な開発のための教育を推進するため、北九州市が「地域の拠点(RCE)」に認定される(日本で4番目)。
- 2007年 2月26日 第51回国連女性の地位委員会(CSW)に参加する。
～ 3月9日
- 3月1日 「アボリジニ女性のエンパワーメントとアートを活かしたまちづくりスタディーツアー(オーストラリア)」を実施する。
～ 8日
- 4月1日 原ひろ子氏が顧問に、三隅佳子氏が第2代会長に、吉崎邦子氏が第5代理事長に、それぞれ就任する。
北九州ESD協議会の事務局となる。
- 10月12日 持続可能な開発のための教育(ESD)をテーマにスタディーツアー(韓国)を実施する。
～ 16日
- 11月10日 第18回アジア女性会議—北九州「つながるひろがる地球の未来」を開催する。
～ 11日
- 12月14日 在福岡アメリカ領事館とミャンマー民主化講演会を共催する。
- 2008年 2月22日 第52回国連女性の地位委員会(CSW)に参加する。
～ 3月7日
- 3月10日 海外拠点づくりの第一歩として姉妹都市の韓国・インチョン広域市を訪問する。
～ 12日
- 4月 KFAW アジア研究者ネットワーク立ち上げの準備をする。
- 5月26日 仁川YWCAの一行(11名)が来北する。
- 6月25日 韓国・忠清南道女性政策開発院(CWPDI)主催の国際会議に参加・日本の現状を発表する。
- 9月6日 財団設立15周年記念講演会「アジア・太平洋地域の女性の現状」を実施する。
- 11月15日 CWPDIと日韓国際セミナーを共同で開催する。
- 11月15日 第19回アジア女性会議—北九州「地球を食べる、地球で食べる—あなたは食を通して何を考えますか?」を開催する。
～ 16日
- 2009年 2月27日 第53回国連女性の地位委員会(CSW)に参加し、KFAW 主席研究員がサイドイベントで「東アジアにおけるケアネットワークの必要性」のテーマで意見発表を行う。
～ 3月6日
- 3月31日 北九州ESD協議会事務局が北九州市環境局に移管される。
- 4月1日 三隅佳子氏が顧問に就任する。
- 6月 ジェンダー関連研究者のネットワークのキックオフ(KFAW アジア研究者ネットワーク)。
- 8月6日 北九州YMCAとロシア・チェリャビンスク国立大学東洋学科学生一行(7名)との交流プログラムを実施する。
- 8月10日 在福岡アメリカ領事館と共催でサマーセミナー「ミッシェル・オバマ;アメリカを変革するファーストレディ」を開催する。
- 9月13日 第2回日韓国際セミナー「大地から食卓へ—ジェンダーの視点で食の安全を考える」を開催する。
- 9月29日 北九州市・大連市友好協定30周年記念チャーター便で、大連市婦女連合会一行がムーブ(KFAW)を訪問する。

- 10月26日 在日シンガポール大使館と共催で国際セミナー「シンガポールの女性はいま」を実施する。
- 11月2日 韓国・忠清南道女性政策開発院（CWPD）と学術交流協定を締結する。
- 11月28日 第20回アジア女性会議—北九州「現在（いま）、世界の女性たちは—北九州から世界
～29日 を視（み）る—」を開催する。
- 2010年2月26日 第54回国連女性の地位委員会（CSW）に参加する。
～3月7日
- 3月1日 第54回国連女性の地位委員会（CSW）パラレルイベントにて、韓国・忠清南道女性政策開発院（CWPD）と共同セミナー「女性のエンパワーメントに向けた取組みと課題～日本と韓国の経験から」を開催する。
- 6月1日 韓国・忠清南道女性政策開発院（CWPD）と共同で、2010 CWPD 開院 11 周年韓日共同セミナー（第3回日韓共同セミナー）「韓日女性の地域における政治参加の拡大政策」を韓国で開催する。
- 7月30日 中国・大連市婦女連合会を訪問。今後の交流について協議する。
- 7月 大連市婦女連合会から「北九州市男女共同参画センター設立 15 周年」を祝すメッセージが届く。
- 10月 東アジア学会 20 周年記念大会にて、賛助会員として表彰される。
- 11月13日 第21回アジア女性会議—北九州「世界の子育て—子ども・親・社会のカタチ—」を開催
～14日 する。
- 2011年1月22日 北九州市立大学と共催で、国際シンポジウム「国際結婚と多文化共生」を開催する。
- 1月～2月 KFAW デート DV 予防教育ファシリテーター養成講座を開催する。（全4回）
- 2月26日 第55回国連女性の地位委員会（CSW）に参加し、サイドイベント「日本において農
～3月3日 林漁業に従事する女性たちのエンパワーメント」において、主席研究員がパネリストとして発表する。
- 4月1日 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ、北九州市立東部勤労婦人センター、北九州市立西部勤労婦人センターの指定管理者となる。
- 8月 市内高校、大学等の約 5,000 人を対象に、デート DV 予防教室講師派遣事業を実施する。（～2012年3月）
- 8月31日 学術交流協定締結機関 韓国・忠清南道女性政策開発院（CWPD）を訪問する。
- 9月1日 韓国・仁川発展研究院を訪問し、交流協力協定を締結する。
- 11月26日 第22回アジア女性会議—北九州「災害と向き合う—東日本大震災から学ぶ」を開催
～27日 する。
- 11月27日 KFAW 日韓共同研究報告会（第4回日韓セミナー）「子育て支援ネットワーク—日韓比較」を開催する。
- 12月 女子学生のためのキャリア形成プログラムの作成に着手する。
- 2012年2月26日 第56回国連女性の地位委員会（CSW）に参加し、パラレルイベント「日本の農村女
～3月4日 性のエンパワーメント—経済のグローバル化と東日本大震災の影響下で」を開催し、主席研究員他が報告する。
- 11月10日 第23回アジア女性会議—北九州「力を合わせよう—女性、女兒への暴力をなくすために」を開催する。
- 12月8日 第23回 KFAW 研究員報告会を開催する。

- 2013年 2月2日 ワールドリポート（第5回日韓セミナー）「日韓米の多文化共生」を開催する。
- 3月2日 第57回国連女性の地位委員会（CSW）に参加し、パラレルイベント「アジア女性交流・研究フォーラムのデートDV/DV防止に向けた取り組み」を開催する。
～ 8日
- 4月1日 **公益財団法人に移行**
第6代理事長に堀内光子氏が就任する。
- 8月10日 DV防止講演会／デートDV予防教育ファシリテーター・フォローアップ講座を実施する。
- 9月～10月 女子学生のためのキャリア形成プログラムを市内大学3校で試験的に実施する。
- 11月9日 財団設立20周年記念事業として、第24回アジア女性会議—北九州「女性の活躍が日本、世界を変える」を開催する。
- 11月10日 財団設立20周年記念事業として、北九州市・仁川広域市女性団体文化交流会を開催する。
- 2014年 2月2日 第24回KFAW 研究員報告会を開催する。
- 2月23日 KFAW スタディツアー「フィリピンで学ぶ国際協力」を実施する。
～ 3月2日
- 4月11日 第58回国際女性の地位委員会（CSW）帰国報告会を開催する。
- 5月～12月 女子学生のためのキャリア形成プログラムを市内大学5校で実施する。
- 8月10日 DV防止講演会／デートDV予防教育ファシリテーター・フォローアップ講座を実施する。
- 10月20日 仁川広域市を訪問し、ジェンダー関連組織・施設への訪問や女性団体主催セミナー及び交流会に参加する。
～ 22日
- 12月3日 ニューヨーク国連本部経済社会局統計部に協力して、国連ジェンダー統計専門家会合を開催する。
～ 5日
- 12月6日 第25回アジア女性会議—北九州「女性の働き方としての起業」を開催する。
- 2015年 1月22日 海外通信員を招へいして、ワールドリポート「いま、アジアの女性たちは～海外通信員を囲んでアジアを知ろう～」を開催するとともに、市内の小学生と大学生を対象とした国際交流プログラムを実施する。
～ 25日
- 2月7日 第25回KFAW 研究報告会を開催する。
- 2月23日 KFAW スタディツアー「フィリピンで学ぶ国際協力」を実施する。
～ 3月4日
- 5月15日 第59回国連女性の地位委員会（CSW）帰国報告会を開催する。
- 6月～12月 キャリア形成プログラムを市内大学4校及び市内高校1校で実施する。
- 6月12日 第26回KFAW 研究報告会を開催する。
- 9月5日 KFAW スタディツアー「ベトナムとカンボジアで学ぶ国際協力」を実施する。
～ 12日
- 9月19日 DV防止講演会／デートDV予防教育ファシリテーター・フォローアップ講座を実施する。
- 10月 「市内製造業の女性活躍推進に関する調査」を実施する。
～ 2016年3月
- 10月31日 第26回アジア女性会議—北九州「女性の活躍推進に向けて～アジアと連携して」を開催する。
- 11月1日 ハノイ女性連盟と北九州市の女性団体との交流会を実施する。
- 2016年 1月23日 ワールドリポート「いま、世界の女性たちは～世界の行政官を囲んで～」を開催する。
- 2月14日 第27回KFAW 研究報告会を開催する。

- 5月19日 第60回国連女性の地位委員会（CSW60）帰国報告会を開催する。
- 7月8日 WWAS 国際会議フォローアップ会議 北九州タウンミーティング「高齢化する社会と地域における女性の活躍」を開催する。
- 9月6日 ハノイ女性連盟との共同企画「ハノイスタディツアー 2016」を実施する。
～10日
- 9月～11月 高校生向けキャリア形成プログラムを自由ヶ丘高校及び八幡西生涯学習総合センターで実施する。
- 11月26日 第27回アジア女性会議—北九州「“誰一人取り残さない”世界の実現～SDGs（持続可能な開発目標）の達成のために何ができるか」を開催する。
- 12月14日 「KFAW 仙台スタディツアー 2016」を実施する。
～16日
- 2017年2月25日 ワールドリポートセミナー「女性と災害」を開催する。
- 3月28日 第28回 KFAW 研究報告会を開催する。
- 5月15日 「2017年 GSW ポストカンファレンス in 北九州～明日のキャリアを見つけよう！～」を開催する。
- 6月23日 第61回国連女性の地位委員会帰国報告会（CSW61）を開催する。
- 7月～9月 高校生向けキャリア形成プログラムを自由ヶ丘高校及び北九州市立ユースステーションで実施する。
- 11月25日 第28回アジア女性会議—北九州「あなたの老後、だれが看るの？～高齢者の介護をジェンダーと外国人の受け入れの視点で考えます～」を開催する。
- 2018年1月17日 「KFAW 台湾スタディツアー 2017」を実施する。
～20日
- 3月25日 第29回 KFAW 研究報告会を開催する。
- 6月14日 第62回国連女性の地位委員会（CSW62）帰国報告会を開催する。
- 8月～9月 高校生向けキャリア形成プログラムを自由ヶ丘高校及び北九州市立ユースステーションで実施する。
- 10月4日 ワールドリポートセミナー 国連女子差別撤廃委員会 パトリシア・シュルツ委員講演会「女子差別撤廃条約のより深い理解のために」を開催する。
- 11月17日 第29回アジア女性会議—北九州「オリンピック・パラリンピックとジェンダー」を開催する。
- 12月11日 「KFAW タイ・スタディツアー 2018」を実施する。
～16日
- 2019年3月24日 第30回 KFAW 研究報告会を開催する。
- 6月13日 第63回国連女性の地位委員会（CSW63）帰国報告会を開催する。
- 7月～8月 高校生向けキャリア形成プログラムを自由ヶ丘高校及び北九州市立ユースステーションで実施する。
- 10月19日 第30回アジア女性会議—北九州「みんなでつくろう、未来～北京女性会議から25年を控えて～」を開催する。
- 2020年1月18日 国際理解セミナー「アジアで最も男女平等が進む国・フィリピン講演会」を開催する。
- 2月9日 国際理解セミナー「のびのび communication ～国とジェンダーをこえて～」を開催する。

- 10月8日 第31回アジア女性会議—北九州「気候変動とジェンダー」を開催する。
- 11月14日 第1回アジアジェンダー研究者ネットワークセミナー「女子差別撤廃条約とSDGs—ジェンダー格差先進国最下位から脱却するために—」を開催する。
- 12月6日 第31回KFAW研究報告会を開催する。(3月開催を予定していた分の延期開催)
- 2021年3月16日 第32回KFAW研究報告会を開催する。
- 3月21日 第65回国連女性の地位委員会(CSW65)NGOフォーラム 平行イベント「Youth talk: climate action and gender (若者による討論:気候変動アクションとジェンダー)」を開催する。
- 3月 Twitter、Instagram アカウント開設
- 6月16日 第65回国連女性の地位委員会(CSW65)報告会を開催する。
- 8月8日 高校生向けキャリア形成プログラム「高校生向けジェンダー講座」を実施する。
- 9月4日 国際理解セミナー
「領事館セミナー×女性のエンパワーメント～多文化共生の視点から～」を開催する。
- 10月2日 第33回KFAW研究報告会を開催する。
- 11月5日 第32回アジア女性会議—北九州「ICTと女性～情報化時代における女性のエンパワーメント～」を開催する。
- 2022年3月12日 第34回KFAW研究報告会を開催する。
- 3月17日 第66回国連女性の地位委員会(CSW66)
NGOフォーラム平行イベント「Youth talk: action for climate justice, disaster prevention & gender equality (若者による討論:気候正義、防災、そしてジェンダー平等への行動)」を開催する。
- 5月15日 アジアジェンダー研究者ネットワークセミナー「『変容するアジアの家族』出版記念セミナー」を開催する。
- 6月10日 第66回国連女性の地位委員会(CSW66)報告会を開催する。
- 7月7日 第33回アジア女性会議—北九州イベント「モルドバに避難したウクライナの女性と子どもたち」イベントを開催する。
- 8月21日 高校生向けキャリア形成プログラム「ジェンダーを考える夏2022」を開催する。
- 9月30日 第33回アジア女性会議—北九州「みんなでフェミニストとして世界を旅しよう!～SDGsチャレンジと共に～」を開催する。
- 11月12日 国際理解セミナー「ジェンダー平等の現状と国連女子差別撤廃委員会」を開催する。
- 2023年1月25日 KFAW ランチタイムトーク(1回目)を開催する。
- 2月18日 第35回KFAW研究報告会を開催する。
- 2月20日 KFAW ランチタイムトーク(2回目)を開催する。
- 3月15日 KFAW ランチタイムトーク(3回目)を開催する。
- 4月22日 アジアジェンダー研究者ネットワークセミナー「ヘジャーブをめぐるポリテクス・ヴェールは何を表象しているのか」を開催する。
- 5月30日 第67回国連女性の地位委員会(CSW67)報告会を開催する。
- 7月15日 「ムーブフェスタ2023 イベントステージ」を開催する。
- 8月10日 高校生向けキャリア形成プログラム「大学の講義にドキドキ!大学生と語る今どきジェンダー!」を開催する。
- 9月2日 NGOセミナー「アフガニスタンの大地より」を開催する。
- 11月10日 女性への暴力ゼロ運動特別講座『DV加害者は変われるか』を開催する。
- 12月9日 国際理解セミナー「世界をつなげるフィリピンの女性たち～ナース、家事・介護労働者からコールセンターまで～」を開催する。

- 2024年 1月17日 企画パネル展「多様性 メディアが変えたもの メディアを変えたもの」を開催する。
- 1月20日 第34回アジア女性会議－北九州「危機の時代を生きる」を開催する。
- 1月30日 KFAW ランチタイムトーク（1回目）を開催する。
- 2月27日 KFAW ランチタイムトーク（2回目）を開催する。
- 3月2日 NGO セミナー「わたしたちは13歳 職業、兵士」を開催する。
- 3月9日 第36回 KFAW 研究報告会を開催する。
- 3月27日 KFAW ランチタイムトーク（3回目）を開催する。

刊行物一覧

(1) 出版物

アジア女性研究

アジア女性研究	創刊号	アジアにおける開発と女性	1,000 円 (品切れ)
アジア女性研究	第 2 号	環境・開発・女性	1,000 円
アジア女性研究	第 3 号	A 地球の未来と人口問題 B アジアの女性と人口問題	1,000 円
アジア女性研究	第 4 号	女性と家族	1,000 円
アジア女性研究	第 5 号	女性と労働	1,000 円
アジア女性研究	第 6 号	女性とメディア	1,000 円
アジア女性研究	第 7 号	女性と教育	1,000 円
アジア女性研究	第 8 号	ジェンダーの視点の主流化をめざして	1,000 円
アジア女性研究	第 9 号	男女共同参画の世紀を拓く	1,000 円
アジア女性研究	第 10 号	ジェンダー主流化に向けて	1,000 円 (品切れ)
アジア女性研究	第 11 号	ジェンダーと健康	1,000 円 (品切れ)
アジア女性研究	第 12 号	持続可能な開発—ジェンダーの視点から	1,000 円 (品切れ)
アジア女性研究	第 13 号	ICT とジェンダー	1,000 円
アジア女性研究	第 14 号	人間の安全保障とジェンダー	1,000 円
アジア女性研究	第 15 号	グローバル化とジェンダー	1,000 円
アジア女性研究	第 16 号	ジェンダーと政治 (ポリティクス)	1,000 円
アジア女性研究	第 17 号	福祉とジェンダー	1,000 円
アジア女性研究	第 18 号	科学とジェンダー	1,000 円
アジア女性研究	第 19 号		※
アジア女性研究	別冊	アジア女性学の動向	200 円
アジア女性研究	第 20 号		※
アジア女性研究	第 21 号		※
アジア女性研究	第 22 号		※
アジア女性研究	第 23 号		※
アジア女性研究	第 24 号		※
アジア女性研究	第 25 号		※ (品切れ)
アジア女性研究	第 26 号		※
アジア女性研究	第 27 号		※
アジア女性研究	第 28 号		※
アジア女性研究	第 29 号		※
アジア女性研究	第 30 号		※
アジア女性研究	第 31 号		※
アジア女性研究	第 32 号		※
アジア女性研究	第 33 号		※

※配布、ホームページからダウンロード

KFAW 調査研究報告書

No.2010-1	インド、ケーララ州の女子教育とジェンダー平等—現状と課題—	※
No.2010-2	日本の犯罪報道における女性 全国紙・地方紙の場合	※
No.2010-3	外国籍女性とその子ども達の社会包摂 —福岡県のフィリピン人およびタイ人女性の 多文化共生—	※
No.2011-1	Women's Empowerment through Collective Actions: The Case of Makthal Federation in Andhra Pradesh, India [女性のエンパワーメントのための問題解決型アプローチ—インド、アンドラ・プラデシュ州、マクタル女性連盟を事例として—]	※

Federations as Collective Actions of <i>Sanghams</i> : The Case of Makthal in Andhra Pradesh		
No.2012-1	ジェンダー主流化に向けたアクションとアウトカム —JICA 集団研修「ジェンダー主流化」フォローアップ調査をもとに—	※
Promoting Gender Mainstreaming around the World: Results of a Follow-up Survey on the JICA Training Course on Gender Mainstreaming		
No.2012-2	農村女性起業家の事業継続を支援するための調査・分析・ネットワーク開発に関する研究	※
No.2012-3	アジア地域における移行経済国から日本への女性の結婚移住 —インドシナ難民家族と滞日中国人家族における移民女性の事例から—	※
No.2013-1	津波被災地の復興における女性の役割 —インドネシアのアチェ州と東北地方の比較を通して—	※
No.2013-2	現代台湾における子育てをめぐる言説の諸相とジェンダー	※
No.2014-1	夫婦間の性別役割分業はなぜ変わらないのか —既婚女性へのインタビュー調査から探る—	※
No.2014-2	グローバル化に対する認識と英語力 —日本人女性と韓国人女性との比較—	※
No.2015-1	地域における女性団体の活動に関する研究 —北九州市の女性団体を中心に—	※
No.2015-2	移住によって潜在能力は発揮できるか？ —ジェンダーの視点で見た滞日ネパール人の特徴—	※
No.2015-3	台湾・マレーシアにおける女性に対する暴力被害者支援の研究	※
No.2016-1	第1回 WWAS 国際会議フォローアップ会議 北九州タウンミーティング 「高齢化する社会と地域における女性の活躍」報告書	※
No.2017-1	アジアにおける性的マイノリティの人権と市民社会 —台湾、シンガポール、日本の比較研究を中心に—	※
No.2017-2	日本における外国人ケア労働者の受け入れと育成をめぐる現状と課題： ジェンダーの視点からの分析	※
No.2018-1	テレワークによる「女性活躍」についての研究	※
No.2018-2	日中における幼児教育とジェンダー —「教育家族」の中の父親役割—	※
No.2018-3	持続可能な開発目標（SDGs）におけるジェンダー視点の主流化に関する研究： 日本と諸外国の自発的な国家レビューの比較	※
No.2019-1	地方議会の女性議員増加をめざして —日・台統一地方選挙時の比較調査から—	※
No.2019-2	女性視点のキャリア形成促進に向けた研究 —福岡県と鹿児島県におけるインタビュー調査を基礎として—	※
No.2019-3	DV 被害を受けた母親と子どもへの支援に関する実証的研究 —日本とシンガポールの実践を通して—	※
No.2020-1	国際家族年前後の家族をめぐる論点の整理 —国際比較のための基礎的研究—	※
No.2020-2	地方自治体におけるパートナーシップ制度の現状と課題	※
No.2021-1	離婚過程の女性が抱える課題と支援 —シングルマザー・プレシングルマザーのインタビュー調査から—	※
No.2022-1	COVID-19 による障害女性の日常生活への影響 —バングラデシュを事例として—	※
No.2023-1	日本の起業活動の男女間格差と非三大都市圏の女性起業支援策	※
No.2023-2	80年代日本のエコフェミニズム論争を総括する —〈青木・上野論争〉の5つの争点をめぐって—	※

※配布、ホームページからダウンロード

Journal of Asian Women's Studies

<i>Journal of Asian Women's Studies</i> Vol. 1	Women in Development in Asia	800 円
<i>Journal of Asian Women's Studies</i> Vol. 2	Environment, Development and Women	1,000 円

<i>Journal of Asian Women's Studies</i> Vol. 3	Population and Our Earth's Future Women's Reproductive Rights and Population Problems in Asia	1,000 円
<i>Journal of Asian Women's Studies</i> Vol. 4	Women and Family	1,000 円
<i>Journal of Asian Women's Studies</i> Vol. 5		1,000 円 (品切れ)
<i>Journal of Asian Women's Studies</i> Vol. 6 & 7		1,500 円 (品切れ)
<i>Journal of Asian Women's Studies</i> Vol. 8		1,000 円
<i>Journal of Asian Women's Studies</i> Vol. 9		1,000 円 (品切れ)
<i>Journal of Asian Women's Studies</i> Vol. 10	Women / Gender and Globalization	1,000 円 (品切れ)
<i>Journal of Asian Women's Studies</i> Vol. 11	Participation and Good Governance: Environmental Issues from a Gender Perspective	1,000 円 (品切れ)
<i>Journal of Asian Women's Studies</i> Vol. 12	Cairo+10: Reviewing Reproductive Health and Rights	1,000 円
<i>Journal of Asian Women's Studies</i> Vol. 13	ICT and Gender	1,000 円
<i>Journal of Asian Women's Studies</i> Vol. 14		1,000 円
<i>Journal of Asian Women's Studies</i> Vol. 15		1,000 円
<i>Journal of Asian Women's Studies</i> Vol. 16		1,000 円
<i>Journal of Asian Women's Studies</i> Vol. 17	Welfare and Gender	1,000 円
<i>Journal of Asian Women's Studies</i> Vol. 18	E-journal	※
<i>Journal of Asian Women's Studies</i> Vol. 19	E-journal	※
<i>Journal of Asian Women's Studies</i> Vol. 20	E-journal	※
<i>Journal of Asian Women's Studies</i> Vol. 21	E-journal	※
<i>Journal of Asian Women's Studies</i> Vol. 22	E-journal	※
<i>Journal of Asian Women's Studies</i> Vol. 23	E-journal	※
<i>Journal of Asian Women's Studies</i> Vol. 24	E-journal	※
<i>Journal of Asian Women's Studies</i> Vol. 25	E-journal	※
<i>Journal of Asian Women's Studies</i> Vol. 26	E-journal	※
<i>Journal of Asian Women's Studies</i> Vol. 27	E-journal	※
<i>Journal of Asian Women's Studies</i> Vol. 28	E-journal	※
<i>Journal of Asian Women's Studies</i> Vol. 29	E-journal	※

※ホームページからダウンロード

環境シリーズ

アジアにおける環境と女性—実践事例集—	500 円
地球温暖化対策の未来	500 円
ノーベル平和賞受賞者ワンガリ・マータイさんと語る 北九州市民・環境フォーラム 世界の環境首都をめざして 記録	300 円
「持続可能な開発のための教育」～(財)アジア女性交流・研究フォーラムの活動記録～	非売品

農業女性シリーズ

アジアの農業女性のエンパワーメント—韓国と中国からの報告—	1,000 円
Empowerment of Female Farmers in Asia—Korea and China—	1,500 円 (品切れ)
Empowerment of Female Farmers in Asia—Vietnam and Thailand—	1,500 円

アジアのドメスティック・バイオレンスシリーズ

アジアのドメスティック・バイオレンス (ハードカバー)	2,500 円
アジアのドメスティック・バイオレンス (ペーパーバック)	2,000 円
Domestic Violence in Asia—A Report from Korea and Cambodia—	800 円

アジア家族研究シリーズ

日本と韓国の家族意識の比較研究—福岡・ソウル調査を中心に—	2,000 円
A Comparative Study on the Family Consciousness between Korea and Japan —Centered on Seoul and Fukuoka—	2,000 円
現代タイの家族意識の研究—バンコク・ソウル・福岡調査の比較と共に—	2,000 円
A Study of Family Consciousness in Contemporary Thailand —With Comparison among Bangkok, Seoul and Fukuoka—	2,000 円
現代中国における都市家族の意識と生活に関する研究 —北京調査及びバンコク・ソウル・福岡との比較—	2,000 円
A Study on Life and Consciousness of Contemporary Urban Family in China —A Research in Beijing with Comparison among Bangkok, Seoul and Fukuoka—	2,000 円 (品切れ)
アジアの経済発展と家族及びジェンダー	1,000 円
The Influences of Economic Development upon Women and Families —Experiences in Seven Asian Countries—	2,000 円
マレーシアの経済開発と家族及びジェンダー—経済危機の前夜まで—	2,000 円
Effects of Socio-Economic Development on Family and Gender Relations Before Economic Crisis in Malaysia—Focusing on Kuala Lumpur—	2,000 円
アジアの経済発展と家族及びジェンダー—改訂版—	1,200 円
変容するアジアの家族 シンガポール、台湾、ネパール、スリランカの現場から	3,080 円

アジアの働く女性シリーズ

パキスタンの働く女性—綿摘み女性労働者と縫製業の女性労働者—	1,000 円
ベトナムの働く女性—ホーチミン市縫製工場の女性移住労働者—	1,000 円
フィリピンミンダナオ北部における経済開発と女性 —開発における社会・経済ジェンダー分析 (SEGA) モデルの検証—	1,000 円

客員研究員研究

マレーシアとシンガポールにおける女性と政治 —ナショナリズム・国家建設・ジェンダー—	1,000 円
中国における社会福祉政策の展開状況に関する研究	1,000 円
Globalization の新潮流と「環境保全型経済発展の課題」 —東南アジア諸国における「中間階層」の増大との関連で—	1,000 円 (品切れ)
上海市女性高齢者生活状況に関する訪問調査	1,000 円
アウンサンスーチーの思想と行動	1,000 円
アウンサンスーチーの思想と行動 (ビルマ語付)	1,500 円 (品切れ)
グローバリゼーションの新潮流と環境保全型経済発展の課題 —東南アジア諸国の事例で—	1,000 円
ミャンマーにおける女性の地位	1,000 円
インドにおける生涯にわたる健康とジェンダー	1,000 円
インドの経済開発と再生可能エネルギー利用—女性の社会的役割の増大する中で—	1,000 円
女性労働者の非正規化に関する日韓比較 —労働市場と女性政策、職場のジェンダー構造化の分析—	非売品
「法」・「貧困」・「ジェンダー」：法多元主義と正義へのアクセス	非売品
フィリピンとミャンマーにおける、若者および女性を対象とした HIV / AIDS 対策に 関する調査研究	非売品
「権利をよりどころにするアプローチ」の展開とアジアの女性のエンパワーメント	※
大連市に進出の日本企業における現地採用女性従業員の労働実態と企業の社会的責任	※
表現アートセラピーを応用したリサーチ手法の可能性 —人身売買被害者の「<ほんもの>の語り」—	※
東北アジアにおけるジェンダー予算の動向—日本、韓国、台湾を事例として	※
中央アジア諸国におけるコミュニティ研究—ジェンダーの視点から— (ウズベキスタン、タジキスタン、カザフスタン、キルギスの事例より)	※

自治体の入札・契約におけるポジティブ・アクション評価による男女共同参画推進に関する比較研究	※
東南アジアから東アジアへの国際移動と再生産労働の変容 —韓国・台湾・日本の比較研究—	※
内戦・津波災害下のこどもの健康 —スリランカ、トリンコマリ県の実態調査に見る性差—	※

※ホームページからダウンロード

起業家シリーズ

私の起業体験—きたきゅうしゅう・ふくおかの女性起業家たち—	1,000 円
アジアの女性起業家	1,000 円
Women Entrepreneurs in Selected Asian Countries	1,000 円

アジア女性シリーズ

No. 1 「中国の女性」	1,000 円
No. 2 「スリランカの女性」	1,000 円
No. 3 「インドネシアの女性」	1,000 円
No. 4 「韓国の女性」	1,000 円
No. 5 「フィリピンの女性」	1,000 円
No. 6 「バングラデシュの女性」	1,000 円
No. 7 「ベトナムの女性」	1,000 円
No. 8 「タイの女性」	1,000 円
No. 9 「中国の女性（改訂版）」	1,000 円
No. 10 「シンガポールの女性」	1,000 円
No. 11 「マレーシアの女性」	1,000 円
No. 12 「インドの女性」	1,000 円

海外通信員レポート集

Vol. 1 (1991-1992)	500 円
Vol. 2 (1992-1993) 「家族教育と女性」	800 円
Vol. 3 (1993-1994) 「教育と女性」	800 円
Vol. 4 (1994-1995) 「女性と家族」	800 円
Vol. 5 (1995-1996) 「女性と労働」	800 円
Vol. 6 (1996-1997) 「女性とエンパワーメント」	800 円
Vol. 7 (1997-1998) 「女性とエンパワーメント」	800 円
Vol. 8 (1998-1999) 「女性と起業家」	800 円
Vol. 9 (1999-2000) 「高齢者と子ども」	800 円
Vol. 10 (2000-2001) 「環境と女性」	800 円
Vol. 11 (2001-2002) 「健康と女性」	非売品

中間階層の研究シリーズ

現代フィリピンにおける「中間階層」の研究	1,000 円
現代タイにおける「中間階層」の研究	1,000 円
現代インドネシアにおける「中間階層」の研究	1,000 円
現代マレーシアにおける「中間階層」の研究	1,000 円
現代シンガポールにおける「中間階層」の研究	1,000 円
東南アジアにおける「中間階層」の研究	1,000 円

その他

Princess Sunflower	1,500 円
おんなの軌跡北九州—北九州市女性の 100 年史—	3,000 円
変容するアジアの家族 シンガポール、台湾、ネパール、スリランカの現場から	3,080 円

(2) ビデオ

国際理解のための教材ビデオ（解説書つき）ライブラリー価格 10,000 円	通常価格
中国の子どもたち／スリランカのサボミちゃん	3,000 円（品切れ）
素顔の韓国／ほほ笑みの国・タイ	3,000 円
インドネシアの子どもたち／共に生きるアジアの隣人	3,000 円
陽気なフィリピンの子もたち／手と手を結ぼう	3,000 円
こんにちはマレーシアの子どもたち／マレーシアってどんな国？	3,000 円
多文化社会の子どもたち／オーストラリアってどんな国？	3,500 円
シンチャオ こんにちはベトナム／ベトナムの子どもたち —いちばん大切なものはなに？—	3,500 円

※全て税込価格です。

出版物、ビデオを郵送する場合、送料が別途かかります。

海外とのネットワーク

117 カ国 3 地域 延べ 1,483 人 (2024 年 3 月末まで)

合計	1,483
国 (117)	1,432
地域 (3)	51

アジア	21 カ国	975
1	インド	60
2	インドネシア共和国	62
3	カンボジア王国	37
4	シンガポール共和国	31
5	スリランカ民主社会主義共和国	42
6	タイ王国	69
7	大韓民国	104
8	中華人民共和国 (うち香港特別行政区)	90 9
9	ネパール連邦民主共和国	86
10	パキスタン・イスラム共和国	45
11	バングラデシュ人民共和国	48
12	東ティモール民主共和国	3
13	フィリピン共和国	99
14	ブータン王国	83
15	ブルネイ・ダルサラーム国	2
16	ベトナム社会主義共和国	35
17	マレーシア	34
18	ミャンマー連邦共和国	11
19	モルディブ共和国	12
20	モンゴル国	14
21	ラオス人民民主共和国	8
北米	2 カ国	88
1	アメリカ合衆国	84
2	カナダ	4
中南米	17 カ国	63
1	ウルグアイ東方共和国	6
2	エルサルバドル共和国	8
3	コスタリカ共和国	2
4	コロンビア共和国	1
5	ジャマイカ	1
6	スリナム共和国	3
7	セントルシア	1
8	チリ共和国	5
9	ドミニカ共和国	1
10	ニカラグア共和国	1
11	ハイチ共和国	2
12	パナマ共和国	4
13	パラグアイ共和国	1
14	ブラジル連邦共和国	12
15	ペルー共和国	7
16	ホンジュラス共和国	1
17	メキシコ合衆国	7
欧州 (NIS 諸国を含む)	25 カ国	66
1	アルバニア共和国	4
2	英国 (グレート・ブリテン及び北アイルランド連合王国)	9
3	イタリア共和国	2
4	ウクライナ	1
5	ウズベキスタン共和国	2
6	オランダ王国	4
7	キプロス共和国	1
8	キルギス共和国	2
9	クロアチア共和国	1
10	コソボ共和国	8
11	スウェーデン王国	1
12	タジキスタン共和国	2
13	チェコ共和国	1
14	デンマーク王国	2
15	ドイツ連邦共和国	2
16	ノルウェー王国	2
17	フィンランド共和国	3

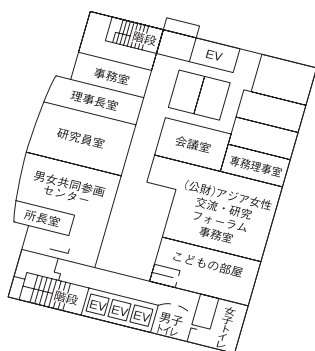
18	ボスニア・ヘルツェゴビナ	5
19	ポルトガル共和国	1
20	マケドニア旧ユーゴスラビア共和国	1
21	モルドバ共和国	5
22	ロシア連邦	2
23	ジョージア	2
24	スイス連邦	2
25	セルビア共和国	1
大洋州	10 カ国	72
1	オーストラリア連邦	18
2	キリバス共和国	1
3	サモア独立国	3
4	ソロモン諸島	4
5	パプアニューギニア独立国	20
6	パラオ共和国	1
7	バヌアツ共和国	2
8	フィジー諸島共和国	21
9	マーシャル諸島共和国	1
10	ミクロネシア連邦	1
中東	8 カ国	33
1	アフガニスタン・イスラム共和国	12
2	イエメン共和国	2
3	イスラエル国	1
4	イラク共和国	1
5	イラン・イスラム共和国	3
6	シリア・アラブ共和国	1
7	トルコ共和国	5
8	ヨルダン・ハシエミット王国	8
アフリカ	34 カ国	135
1	アルジェリア民主人民共和国	1
2	ウガンダ共和国	7
3	エジプト・アラブ共和国	6
4	エリトリア国	1
5	ガーナ共和国	28
6	ガボン共和国	1
7	カメルーン共和国	2
8	ケニア共和国	13
9	コートジボワール共和国	4
10	コンゴ共和国	1
11	コンゴ民主共和国 (旧ザイール)	2
12	サントメ・プリンシペ民主共和国	1
13	ザンビア共和国	4
14	ジンバブエ共和国	2
15	スワジランド王国	3
16	赤道ギニア共和国	1
17	セネガル共和国	1
18	タンザニア連合共和国	5
19	チャド共和国	2
20	中央アフリカ共和国	1
21	ナイジェリア連邦共和国	11
22	ニジェール共和国	4
23	ブルキナファソ	2
24	ブルンジ共和国	1
25	ベナン共和国	1
26	ボツワナ共和国	1
27	マダガスカル共和国	1
28	マラウイ共和国	17
29	マリ共和国	3
30	南アフリカ共和国	3
31	南スーダン共和国	2
32	モーリシャス共和国	1
33	モーリタニア・イスラム共和国	1
34	レソト王国	1
地域	3 地域	51
1	イギリス領ヴァージン諸島	1
2	台湾	40
3	パレスチナ (PLO)	10

施設案内

北九州市大手町ビルは地上10階、地下2階建てで、平成7年7月に開館しました。

1階から5階までが北九州市立男女共同参画センター・ムーブで、公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラムは3階に入居しています。

3階 FLOOR GUIDE



主な施設

- 9・10F 北九州市立大手町練習場
- 8F 北九州市人権推進センター

6・7F (公財)アジア成長研究所

5F

4F

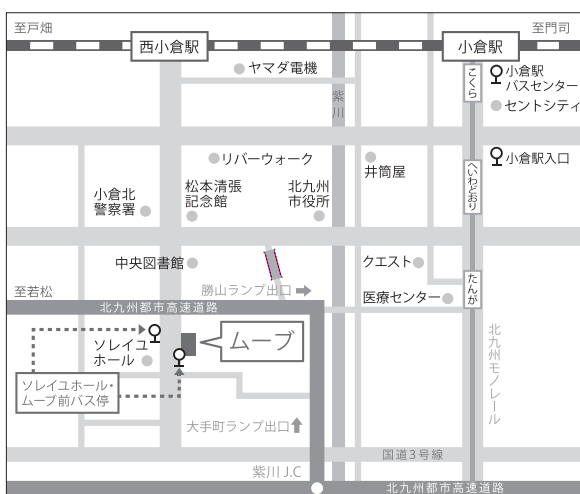
3F (公財)アジア女性交流・研究フォーラム

2F

1F

B1・2F 地下駐車場 (有料・100台収容)

北九州市立
男女共同参画
センター・ムーブ



アクセス

①JR西小倉駅より

1) 徒歩約15分

2) 西鉄バス

・西小倉駅前 ソレイユホール・ムーブ前下車
36、45、110、138、150、170、197

②JR小倉駅より

1) 西鉄バス

・小倉駅バスセンター ソレイユホール・ムーブ前下車
27、36、45、110、138

・小倉駅入口 ソレイユホール・ムーブ前下車
150、170、197

③北九州市高速道路 勝山ランプ/大手町ランプより約3分

指定管理施設の案内

北九州市立男女共同参画センター・ムーブ



北九州市立
男女共同参画センター

ムーブ

〒803-0814

北九州市小倉北区大手町11番4号

TEL (093) 583-3939 FAX (093) 583-5107

E-mail move@move-kitakyu.jp

ホームページ <https://www.kitakyu-move.jp>



(公財) アジア女性交流・研究フォーラム
令和 5 (2023) 年度 年報

発 行 (公財) アジア女性交流・研究フォーラム
〒 803-0814 北九州市小倉北区大手町 11-4
TEL (093) 583-3434
FAX (093) 583-5195
HP <https://www.kfaw.or.jp>
発 行 月 令和 6 年 8 月



公益財団法人

アジア女性交流・研究フォーラム
KITAKYUSHU FORUM ON ASIAN WOMEN

〒803-0814 北九州市小倉北区大手町11番4号 北九州市大手町ビル3階
電話 093-583-3434 FAX 093-583-5195
E-mail: kfaw@kfaw.or.jp ホームページ <https://www.kfaw.or.jp>